

Childline Annual Report 2026



2026 チャイルドライン年次報告
目次

ごあいさつ 1

チャイルドラインとは 2

特集 子どもの生きづらさを考える 4

受けとめた子どもの声

 チャイルドラインに届いた子どもの声 12

 受けとめた「声」のデータ 16

報告 チャイルドラインの取り組み

 集計データから、子どもの状況を読み解く 26

 子どもへの広報 27

 包括的性教育の推進をめざして 28

 夏の全国キャンペーン「聴かせてほしい あなたの声」 30

 全国研修「地域での発信力を高めよう」

 チャイルドライン月間「みんなでチャイルドライン」

チャイルドライン実施体制と運営

 チャイルドライン実施団体 32

 チャイルドライン支援センター 33

 ご支援ご協力 34

 パブリシティ 35

チャイルドライン支援議員連盟 36

ごあいさつ

チャイルドラインには、学校や友人関係、自分自身のことなど、さまざまな「声」が届いてきます。その中には、子どもに関わる出来事が報じられたことをきっかけに、「自分も話してみよう」と勇気を出してつながってくる子どももいます。

社会や技術が大きく変化し、子どもを取り巻く環境や相談のかたちも変わりつつあります。しかし、どれだけ時代が変わっても、子どもが安心して気持ちを受けとめてもらえる「人とのつながり」の大切さは変わりません。子どもは、人とつながることをあきらめたわけではありません。安心して話せる相手を、そして「話しても大丈夫」と感じる居場所を求めているのだと感じています。

子どもの声は、一人ひとりの願いや思いであると同時に、今の社会を映し出す鏡でもあります。だからこそ、私たちは子どもの声を丁寧に受けとめ、その声を社会に届け、ともに考えていくことを大切にしています。そして、これからも子どもの声に学びながら、子どもに必要とされるチャイルドラインであり続けたいと思います。

この一年も、多くの皆さまのご理解とご支援に支えられ、活動を続けることができました。心より感謝申し上げます。



特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター（認定 NPO）
代表理事 平井 貴美子

※百分率で表しているデータは四捨五入の関係で合計が100%にならないことがあります。
※事例は、個人が特定できないようプライバシーに配慮して再構成しています。
※「子どもからの質問・意見・感想」はチャイルドラインのウェブサイトを通じて寄せられたものです。（公表することを明記し募集しています。）

チャイルドラインとは

〈チャイルドラインのミッション〉

子どもの権利条約に基づき、子どもの「声」を受けとめることで、
子どもがりのままで安心できる心の居場所をつくります。

また、受けとめた「声」を社会に発信し、子どもの生きやすい社会を目指します。

子どもの「声」を受けとめる

チャイルドラインは 18 歳までの子どもの「声」を聴き、その気持ちに寄り添います。子どもは、本気で自分の話を聴いてもらえた、受けとめてもらえたと感じることができれば、自分自身でその課題と向き合い、乗り越えていく力を持っています。そう信じ、ありのままの子どもを丸ごと応援するのが、チャイルドラインです。

チャイルドラインの主役は子どもです。子どもを一人の人間としてその主体性を尊重します。主導権は子どもにあり、子どもがやめなくなったらいつでも話をやめることができます。心配をかけたくない、はずかしいなどの理由で、親や友だちなど身近な人には話しぶらいことも、匿名で知らない相手にだからこそ話せることもあります。チャイルドラインは、お説教や、おとなの考えの押しつけをせず、子どもの「声」に耳を傾け、どんなことも子どもと一緒に考えます。

子どもが安心して話せる場となるために、チャイルドラインは子どもたちに 4 つの約束をしています。

○ヒミツはまもるよ

○名まえは言わなくていい

○どんなことも、いっしょに考える

○電話やチャットをやめたいときはいつでもやめていい

受けとめた声を社会に発信する

チャイルドラインは、子どもの「声」から見えてくる社会課題や子どもの状況を広く発信することで、子どもが生きやすい社会をつくっていきたいと考えています。そのため、子どもの声をデータとして集積・分析しています。また講演会などで子どもの話を聴くことの大切さなどについての啓発活動も重ねています。さらに、行政・企業・他団体と連携して「子どもの最善の利益」が保障される社会をつくるために何が必要かを話し合い、協働していくことにも取り組んでいます。

チャイルドラインの活動は、それに関わるおとなも人として成長する場となっています。そして、地域の「おとな」として子どもや社会と向き合っていくことも、関わるすべての人の使命であると考えています。

日本のチャイルドラインのあゆみ

1989 年	国連「子どもの権利条約」採択	2009 年	全国統一番号フリーダイヤル運用開始
1994 年	日本において同条約批准	2016 年	オンラインチャット試行開始
1997 年	世田谷区の市民団体が当時の文部大臣らと英国のチャイルドライン UK を視察 超党派による「チャイルドライン設立推進議員連盟」が発足（現チャイルドライン支援議員連盟）	2018 年	フリーダイヤル毎日実施となる
1998 年	日本で初のチャイルドライン「せたがやチャイルドライン」開設	2019 年	オンラインチャット正式事業化
1999 年	チャイルドライン支援センター設立	2020 年	HP 上に「つぶやく」設置
2000 年	全国「こどもの日チャイルドライン」実施	2022 年	ネットでんわ試行開始
2003 年	地域別統一フリーダイヤルキャンペーン実施	2023 年	ネットでんわ定期実施開始
2007 年	子どもの声を蓄積するデータベース運用開始	2024 年	25 周年記念公開講演会 「子どもの声が社会を変えていく～聴き続けて 25 年～」
		2025 年	包括的性教育の推進について提言
		2026 年	チャイルドラインとすすめよう！ 包括的性教育推進キャンペーン開始

世界のチャイルド・ヘルプライン（CHI：Child Helpline International）との交流

1970 年代に北欧で始まった子どものためのホットラインが世界各地に広がり、1986 年虐待が問題となっていた英国でチャイルドライン UK が開設。世界をつなぐチャイルド・ヘルプライン・インターナショナル（CHI）はオランダに本部を置き、現在 130 以上の国や地域の 150 以上の 団体が活動しています。日本のチャイルドラインはチャイルドライン UK をモデルとして始まりました。チャイルドライン支援センターでは、CHI の会議への参加・開催、関係者を招聘した研修の実施、子どものデータ共有などを行っています。

チャイルドラインの子ども観と子どもの権利条約

「子どもの権利条約」の「子ども観」は、子どもを「主体性を持ったおとなと対等な存在」として捉えることです。子どもは、おとなから保護や指導をうけるだけの存在ではなく、独立した人格と尊厳を持ち、自己決定しながら成長していくことができる存在です。権利とは、誰しも生まれながらにして持っている「あたりまえのこと」であり、それが守られることを保障しなければなりません。そして、子どもは単に守られるだけの存在ではなく、おとなと同様に権利を持ち、社会とともに創っていくパートナーです。

チャイルドラインは活動を通して、第 12 条「意見を表明する権利」の実現をめざしています。子どもが意見を表明するためには、気持ちの言語化、意見形成に寄り添う「受け手」が必要だと考えています。

チャイルドラインはこの子ども観のもと、子どもに 4 つの約束をし、子どもが安心して話せる相手、場として、子どもの「意見表明権」を保障する役割を担っています。

子どもの権利条約とは

子どもがどんな権利をもっているのか具体的に記された「子どもの権利条約」は、1989 年に国連で採択され、翌年国際条約として発効し、日本は 1994 年に批准しました。また、児童福祉法や児童虐待の防止等に関する法律（通称：児童虐待防止法）、こども基本法施行、こども家庭庁発足、こども大綱策定にあたっては子どもの権利条約の理念が生かされています。子どもをおとな同様に権利を持つ主体とし、おとなと対等な存在として認め、子どもの人権を保障するのがこの条約の基本です。

4 つの一般原則（こども基本法にも含まれています。）

子どもの権利条約は、4 つの原則を中心に、さまざまな子どもの権利を定めています。そして子どもにとっていちばんよいこと（子どもの「最善の利益」）を実現しようとしています。

差別の禁止（第 2 条）

すべての子どもは、子ども自身や親の人種や国籍、性、意見、障がい、経済状況などどんな理由でも差別されず、条約の定めるすべての権利が保障されます。

子どもの最善の利益（第 3 条）

子どもに関することが決められ、行われる時は、「その子どもにとって最もよいことは何か」を第一に考えます。

生きる権利・育つ権利（第 6 条）

すべての子どもの命が守られ、もって生まれた能力を十分に伸ばして成長できるよう、医療、教育、生活への支援などを受けることが保障されます。

意見表明権・参加（第 12 条）

子どもは自分に関係のある事柄について自由に意見を表すことができ、おとなはその意見を子どもの発達にに応じて十分に考慮します。

参考：日本ユニセフ協会 子どもの権利条約ウェブサイト

1997年チャイルドラインが日本で立ち上がった背景には深刻ないじめ自殺がありました。2026年現在、子どもの自殺者数、いじめ認知件数、不登校者数、どの数字をみても、子どもが生きやすい社会になっているとはいいたくない現状があります。

子どもがなぜ自死を選んだのかを知ることは困難です。しかし、生きづらさを抱えている子どもの気持ちや背景を知ることができます。少しでも子どもの生きやすい社会の実現に

近づくために、この10年間にチャイルドラインに寄せられた子どもの声のデータの中から、わたしたちが特に課題と考える主訴についてあらためて整理します。

次ページ以降、電話の10年間、オンラインチャット（以下チャット）は2018年からのそれぞれの項目の割合の推移と10年間の気持ちを合計し、グラフにまとめました。2025年度にチャイルドラインに届いた子どもの声を個人が特定できないよう再構成して紹介します。

小中高校生の人口は

1632万人^{（1997年）}
から
1179万人^{（2025年）}へと
27%減少

自殺者数は、

244人^{（1996年警察庁統計）}
から
538人^{（2025年同統計）}へと
2倍以上に増加

2016年から2025年までの10年間に届いた子どもの声

	発信数	着信数	会話成立数
電話	4,380,127	1,789,234	450,327

	書き込み件数	対応数	会話成立数
オンラインチャット	226,282	80,643	53,764

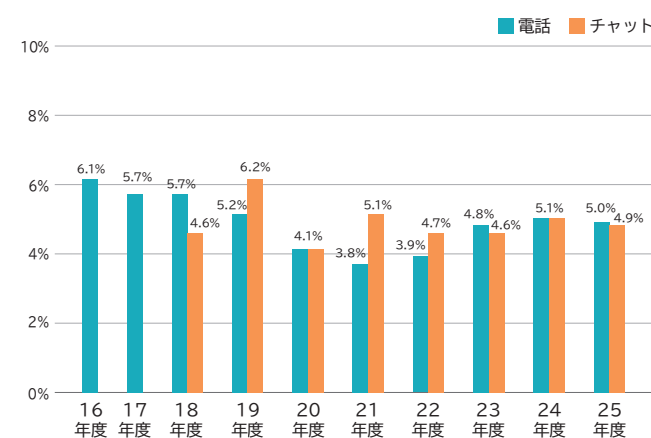
	書き込み件数
つぶやく	108,081

※ 2020年6月スタート

いじめ

小中高校生の「いじめ認知件数」は、この10年で323,143件（2016年）から769,022件（2024年）へと増加。一方、チャイルドラインに入る「いじめ」はこの10年、会話成立全体の5%前後の割合で推移しています。電話ではコロナ禍の2020年度～2022年度まではわずかに少なくなり、2023年度以降はコロナ禍以前の水準に近づきつつあります。これに比べ、チャットは2020年度以外あまり大きな変化はありません。グラフ1で示唆されるのは「い

グラフ1 いじめの10年間の割合推移（電話・チャット）



子どもの声

みんなに悪口を言われたり避けられたり、「顔が悪い」「気持ち悪い」と言われて、何か胸がつまって苦しい。

3か月前のいじめのことをひきずってまだもやもやしているのはおかしいですか？

私はいじめを受けている。でも家族にも先生にも誰にも言っていない。なんでもかかっていうとその問題をこれ以上大事にしたくないから。「困った時は相談して」って大人は簡単に言うけどそれをするのは全然簡単じゃない。だから私はどんなことをされても顔に出さないでいつもみんなに嘘をついて「毎日楽しい」って言うてる。

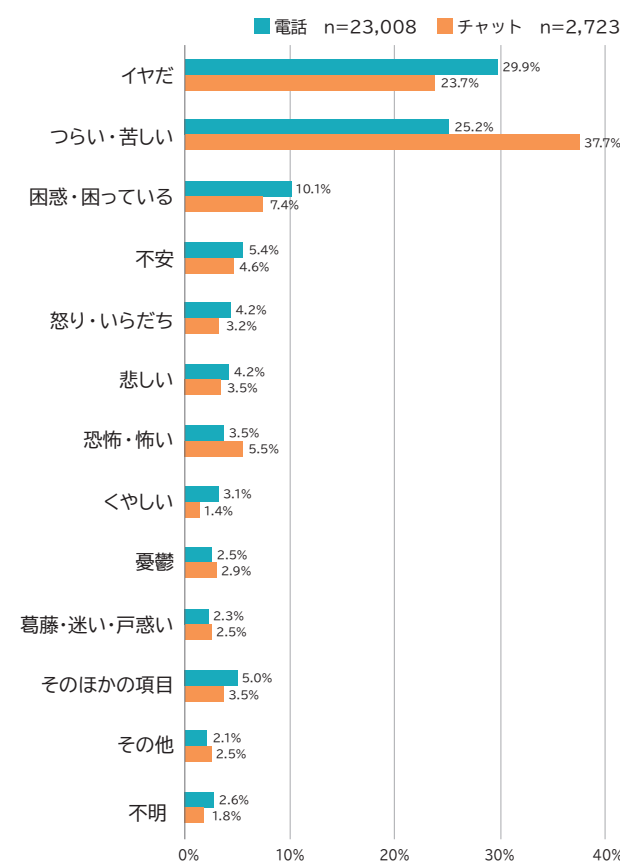


学校でいじめられただけでこんな人生変わるんだって思った。初めは楽しかったのに途中から学校に行けなくなった。2回も違う人からいじめられた。辛い。なんで自分がこうなったんだろう。

もともといじめられていた子を守ったら今度は自分がいじめられるようになった。学校に行こうとすると過呼吸になる。自傷行為もしてみたけど家族のこととか思いだしてうまくできなかった。

いきなりSNSのグループではぶられた。

グラフ2 いじめの気持ち内訳・割合（10年間合計）



小学校の時に男子と女子にいじめられてから人が怖い、今はいじめられてないけど、勇気を出していざ話そうとすると緊張して話せなくなる。沢山のひとと話すことが出来たら幸せだったのかな。

授業の時先生に当てられてパニックになって過呼吸になり辛かった。せめて親にでも理由を話せるようになったら良いけど、怖くてずっと話せてない。

親にいじめのこと相談できないままにいる。辛い。

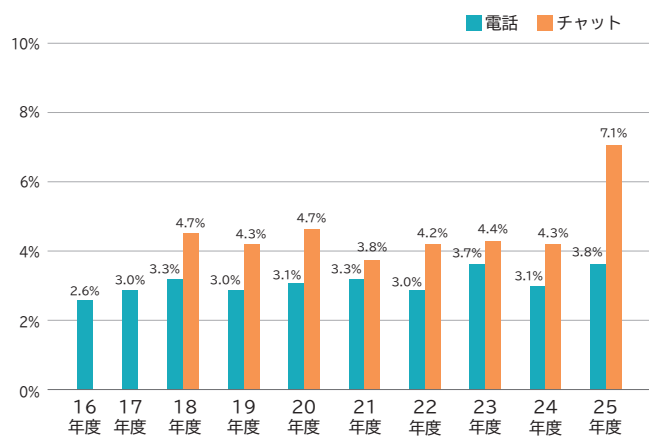
虐待

虐待相談件数が 122,578 件(2016 年) から 223,691 件(2024 年) と増加している一方、この 10 年間チャイルドラインの会話成立数に占める主訴「虐待」の割合は、若干チャットが多いが、大きく変化していません(グラフ 3)。気持ちは「つらい・苦しい」「イヤだ」が多く、チャットでは 60%を超えます(グラフ 4)。

虐待は言葉も含めた暴力だけでなく、家族の世話をするヤ

ングケアラーも虐待です。子どもらしい生活や自由を奪われていることがわかれり、疲れて学校に行きたくないという声も届きます。また、親の価値観の押し付けによる教育虐待と考えられる声も届いています。いずれも被害者である子ども自身が「虐待」であることに気づいていないこともあります。(※性虐待については P11 を参照)

グラフ 3 虐待の10年間の割合推移(電話・チャット)



注) 2025 年チャットの割合について

チャイルドラインは、匿名相談であり、同じ子どもが複数回かけてくることも考えられます。極端なリピーターが存在についてスクリーニング、検証しましたが、現時点で明確にできませんでした。前年度比約 2 倍の増加であり注目される数値ですが、2026 年度以降の推移を見守っていきます。

子どもの声

家で母と姉にいじめられているが、嫌だとは言えない。周囲の誰にも言えない。189は知っているけれど無理やり連れていかれるのが怖い。24時間相談できるサイトを教えてほしい。

なんかもう疲れました。妹のお世話をどれだけしても認めてもらえない。最近学校でも間違えたり、ボーっとしてしまいます。助けて。

両親が離婚して姉妹の中で自分だけ母親に引き取られた。母は精神を病んでいてギャンブル依存症になり、私のお金を使い込んでいる。母親が死ぬ

のが怖いから言うことを聞かれない。離れて暮す姉には相談したいが話せていない。

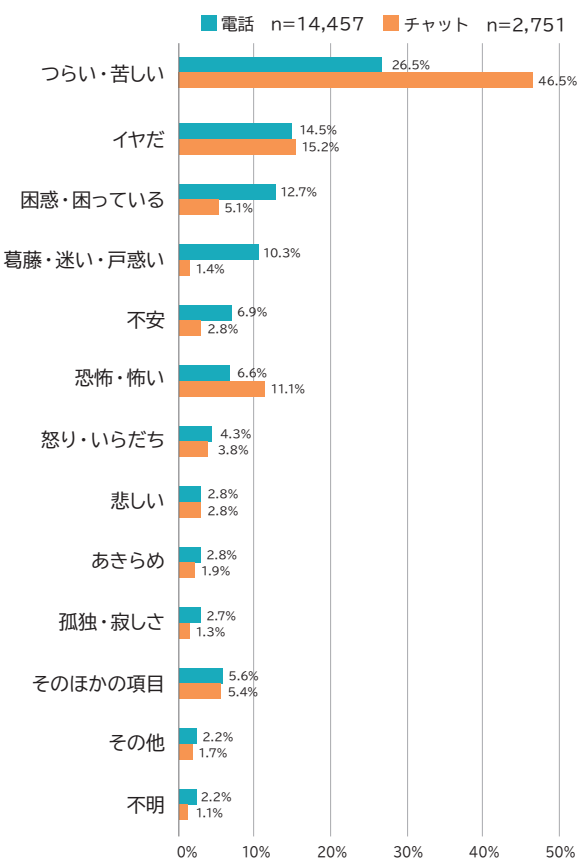
私は虐待をうけて、去年児童養護施設に来ました。幸せになれるそう思って来ましたが、でもそんなことはありません。大好きな友達は居ないし大好きな彼もない。友達なんてそう簡単にはできない。精神が壊れて精神科に入院しました。いろんな年齢層の人と出会って逃げられて良かったんだと思いました。でも児童養護施設に帰るとまた、悲しくなります。家に帰りたいな、

また友達と笑い合いたい。涙は枯れなくずっとこぼれます。自由を奪われている気持ちです。

母親が妹をたたく場面をみるのがつらい。

テストの結果が悪いと、母が怒り、罰としてスマホを取り上げられます。平均点よりいい成績なのに、80 点以下は認めてもらえず、顔を合わせるたび、「お姉ちゃんはこんな点数を取ったことないのに、なんであんたはこんな?」みたいなことを言われ続けます。

グラフ 4 虐待の気持ち内訳・割合(10年間合計)

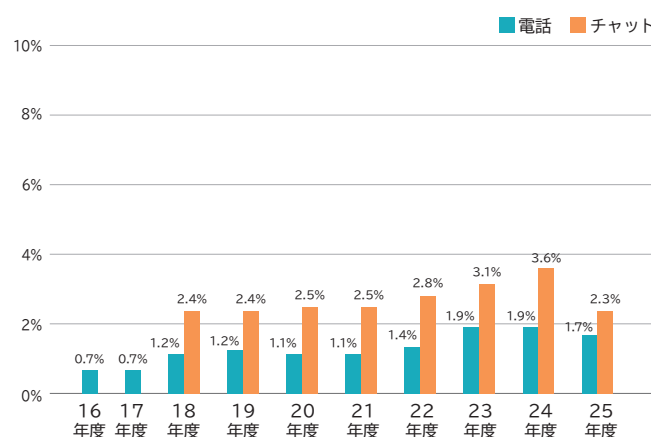


希死念慮

子どもの自殺が増え続けていることにわたしたちおとなは危機感を感じています。大規模な「希死念慮」に関して長期的な変化のわかる調査・統計はありません。主訴「希死念慮」は、10 年間一定の数字で大きな変化はありませんが、電話に比べてチャットのほうが割合が高い傾向があります(グラフ 5)。チャイルドラインのデータ集積では、希死念慮を抱えていても主訴「希死念慮」ではなく、他の主訴、「い

じめ」「不登校」「虐待」などに分類されている場合もあります。一方で直接的に「死んでしまいたい」「消えてしまいたい」という強い思いを訴える切実な子どもの声も届いています。子どもの生きづらさの原因は一つではありません。さまざまなことが複雑に重なり自信や気力を奪われています。子どもの声からは、生活の中で存在を否定される様子も伝わってきます。

グラフ 5 希死念慮の10年間の割合推移(電話・チャット)



グラフ 6にあるように、「つらい・苦しい」気持ちでかけてくる子どもが圧倒的に多いが、「どうせ自分なんか・・・」と「あきらめ」たり「疲れ」たりしている子どもの姿もみえます。おとなは「生きていけばいいことがある」「今我慢すれば、がんばればきっと将来はよくなる」と考えがちですが、子どもは「今」死にたいほど苦しくて SOS を出しています。SOS を受けとめ、「今」苦しい子どもの気持ちを聴き、「今」を生き抜くためにできることを一緒に考えなければなりません。

子どもの声

生きているのが迷惑と思う。

昨日の夜、薬を大量に飲んだ。オーバードーズ。風邪薬 2 瓶。辛い。これを飲めば死ぬかなと思って何回も。夜不安になる。元気にしてくれるものがない。リストカットもする。

理由もなく死にたい。今日リスカした。血を見て生きてる元気を得る。睡眠不足。寝る前にどうしても携帯を見てし

まう。睡眠薬はもらっている。

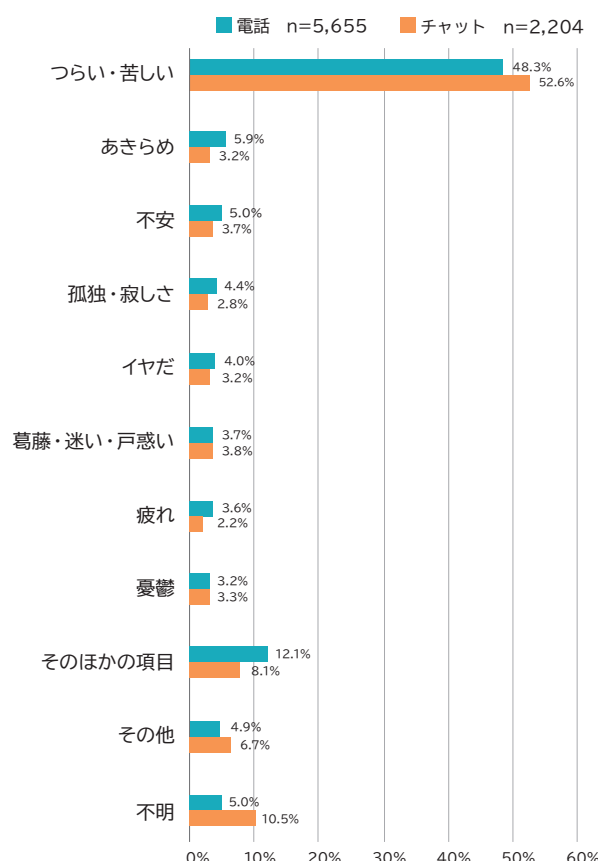
死にたい。心療内科に行きたいのに、親に言っても連れて行ってもらえない。

数年前から死にたい気持ちが増えてきて、特に辛いことがある訳じゃないのに。将来やりたいことはあるし、友達もいる。それでも死にたくて、消えたくて。でもいざ死のうとしても途中で手が止まって。どうすればいいんだろう。

死にたいんじゃない、消えたくもない、皆の記憶から消えたいだけ。

毎日ずっと死にたいって思ってる。死にたいわけじゃないんだけど、生きていたくない。ずっと家にいたい。自分は×ジェンダーでそのことで悩んで、親にも友達にも話せない。姉に性別について言われて、心の中では傷ついたりしてる。明るい子キャラだから誰にも話せないし、わかってもらえない。

グラフ 6 希死念慮の気持ち内訳・割合(10年間合計)



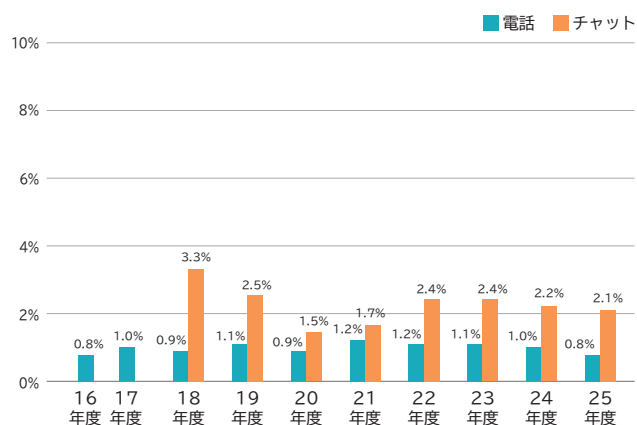
不登校

小中学校生の長期欠席者数は22万人（2016年）から大きく増加し、50万人を超えました（2024年文部科学省）。文部科学省では「不登校」を問題行動ではないと位置づけ、2016年には教育機会確保法が成立、2023年に「だれ一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策」（COCOLOプラン）が取りまとめられ、多様な学びの場の確保に向けた様々な支援が始まっています。

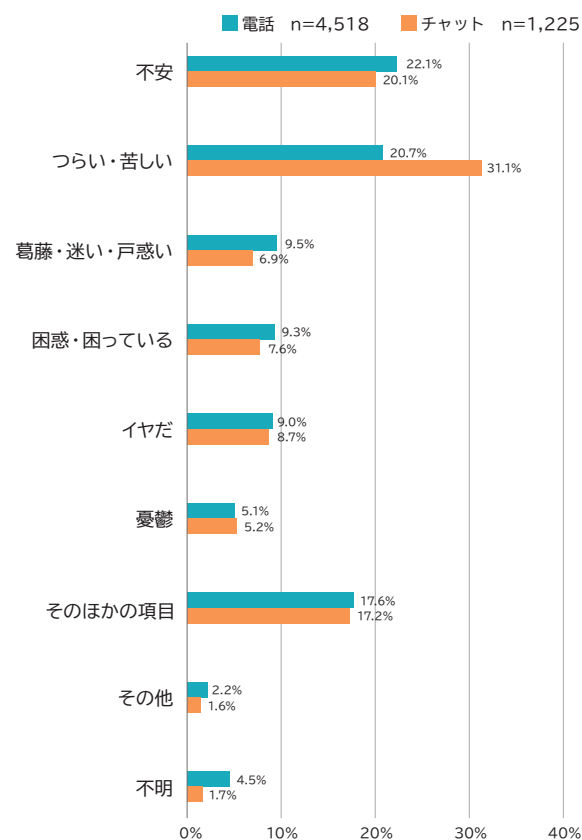
チャイルドラインに入る主訴「不登校」には、不登校になる前の「学校に行きたくない」「学校休み始めてから1週間す

ぎちゃった」なども含まれます。主訴「不登校」の割合は多くありません。（主訴いじめに分類されている可能性もあります。）コロナ禍で休校になった2020年度は若干減少傾向にあるものの10年間大きな変化はなく、電話に比べてチャットのほうが割合が高い傾向があります（グラフ7）。気持ちのデータには、「学校が『つらい・苦しい』『イヤだ』から行けない、行きたくない。」「学校に行けないが行かなくていいのか」「行かないことでの将来が『不安』」と子どもなりの「困惑」「葛藤」を抱え苦しむ姿が表れています。（グラフ8）。

グラフ7 不登校の10年間の割合推移（電話・チャット）



グラフ8 不登校の気持ち内訳・割合（10年間合計）



子どもの声

クラスに友だちがいなくて、週に3回は休んでしまう。行かないと親に怒鳴られる。どうしたら学校にいけるだろう。クラスに友だちがいらない。他にもひとりぼっちの子はいる。その子も話したいと思っているかもしれない。

学校で「ヤングケアラー」のアンケートを挙手でやらされた。ありえない。周囲には知られたくない。「苦労しているアピール」のように言われる。学校が嫌だ。日々につかれた。

小学校はどうしても行かなくてはいけない所ですか？いじめられて無視されて辛い。

いじめられ、学校に行きたくないが親には心配かけられないから頑張っている。

病院はまだ行っていないけど、起立性調節障害で起きられず学校に行けない。親は気合でどうにかなると思っているみたい。つらい。

学校に行きたくない。母に話しても、「お母さんががんばってるんだからあなたもがんばって」「自分が強くならないといけない」と言われる。前に先生にも

相談したが、何もしてくれなかった。

今日、中学校も塾も休んで部屋に立てこもった。父が帰ってきて、話し合ったり、何回もやり取りがあった。勇気をもって電話をして良かった。

通信制に転学したい。親には今の学校で頑張れと言われる。金銭的に転学は厳しい。

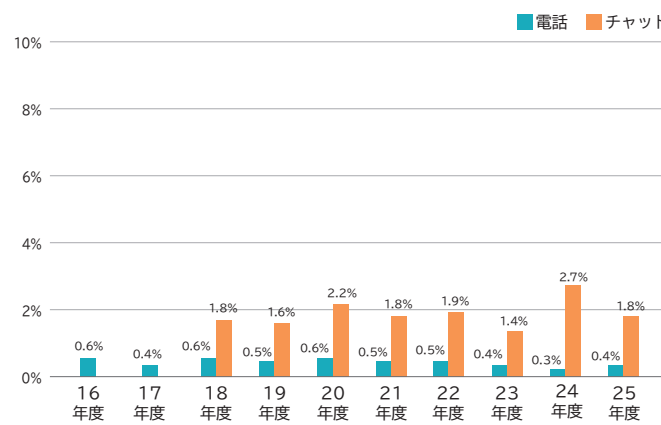
不登校で、別室登校をしている。親に心配をかけたくない。

自傷

小中高校生の自殺者数が増加している中、10代の自殺者の約1割に自傷行為の経験があるとされています（厚生労働省 令和4年自殺対策白書）。「髪を抜く」「爪噛み」「リストカット（リスカ）」「アームカット（アムカ）」「オーバードーズ（OD）」などの自傷行為は、つらい現実やストレスから一時的に逃避したり、苦痛をやわらげるためだといわれ、それは生きていることの確認行為ともいえます。自傷行為は、子どもの心の叫びであり、SOSです。繰り返すうちに依存症

になり、本人の意思でやめることができなくなり、自殺企図していなくても、結果死に至ることもあります。チャイルドラインにも、会話成立の中に占める割合は多くはありませんが、一定数の「自傷した」「やめられない」という声が届いています。自傷行為をしている子どもの気持ちは「つらい・苦しい」と「不安」で過半数を占めます。行為の背景にある生きづらさに耳を傾けなければなりません。

グラフ9 自傷行為の10年間の割合推移（電話・チャット）

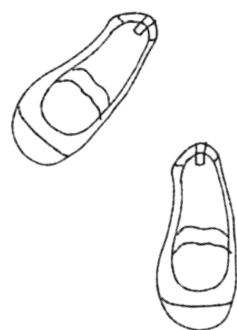


子どもの声

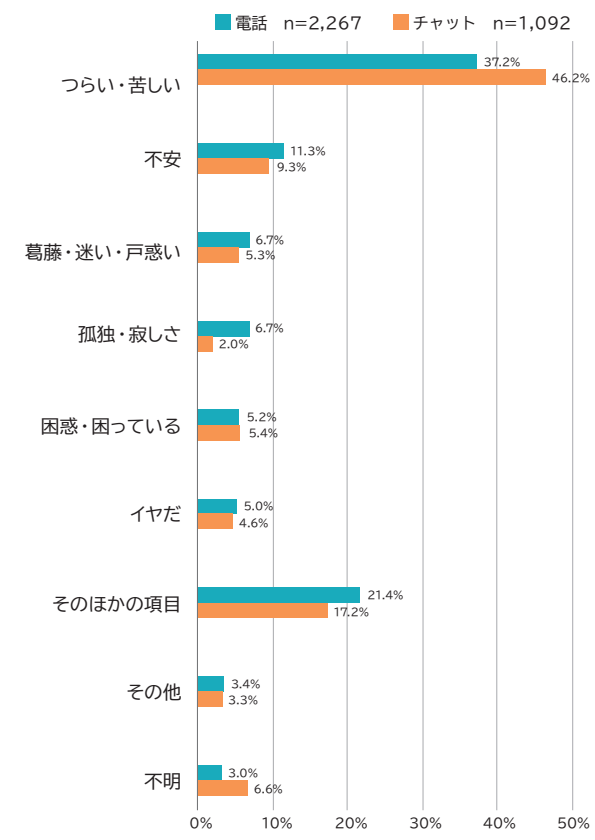
自傷行為がやめられないで悩んでいる。着たい服がなかなか着られない、傷が残るのが気持ち悪いのでやめたい。

朝学校に行く前にリストカットをする。気持ちが軽くなって頑張ろうと思える。学校のことでストレスを感じるが、それ以外にも嫌なことがあって何が理由なのかわからない。エスカレートしないように心配しているが、切らないと不安になる。

自傷行為がやめられない。最近ODにも手を出してしまった。小6の時に興味本位でリスカしてから。まったく辛いことがないのにしてしまう。



グラフ10 自傷行為の気持ち内訳・割合（10年間合計）



生きてるんだって安心する。

道具で首を圧迫する自傷をしている。気絶する前にやめる。自分は辛い思いをしていると知ってほしいだけなのかもしれない。

学校でいじめられて、親にもバカと言われるのがつらい。辛いことがあると自傷行為をして気持ちが落ち着く。ネットの友達に相談したりして回数を減らしている。

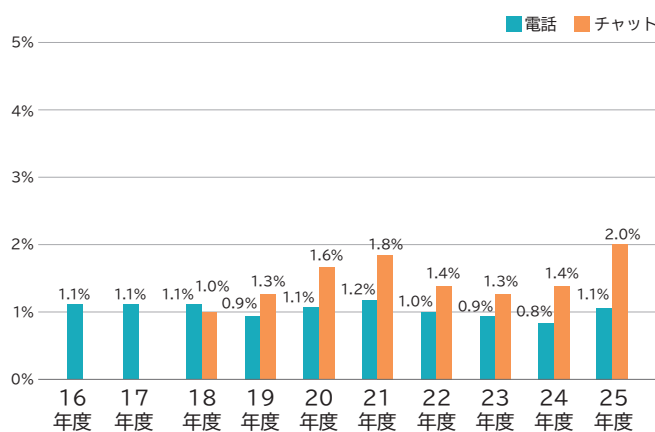
ネットトラブル

今の子どもは生まれた時からインターネットがあるデジタルネイティブ世代です。小中高校生のインターネット利用率は99%、デバイスとしてはスマートフォン利用が79.2%です。小・中・高校生の約半数が、インターネットにまつわるトラブルや困ったり気になったりする経験を持っていることがわかっています（こども家庭庁「令和7年度青少年のインターネット利用環境実態調査」より）。また、スマートフォンの所有率は小学校5年生で半数を超え、中学1年生では8割を超えます。小学校低学年からの所持も増え（2025年

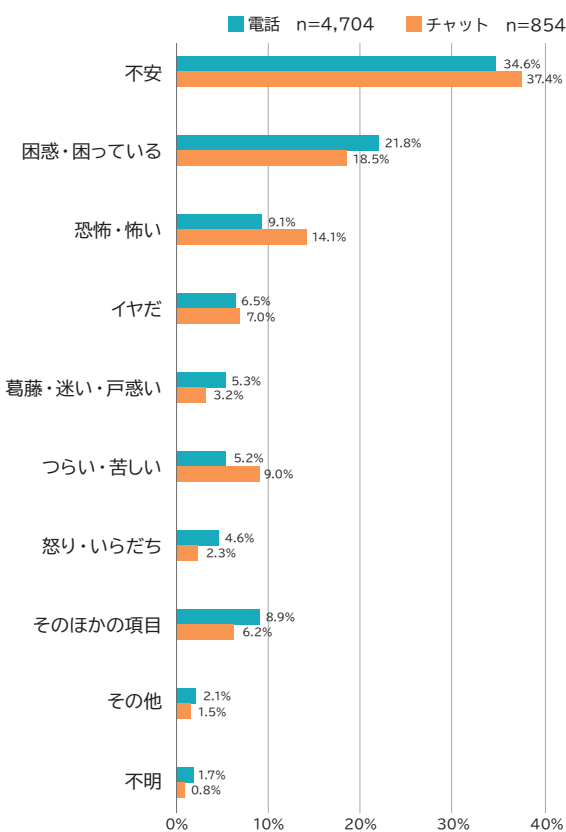
NTTドコモ調査より）、多くの子どもの連絡手段がSNSになっている中、スマートフォンを持たない子どもの声も届いています。

主訴「ネットトラブル」は10年間一定の割合で届いていますが（グラフ11）、他の主訴、たとえば「いじめ」（学校や部活）「地域」「性被害」などにデータとして分類されているなかに、インターネットが絡んでいることもあります。気持ちちは「不安」「困惑・困っている」が過半数を超えているのは特徴的です（グラフ12）。

グラフ11 ネットトラブルの10年間の割合推移（電話・チャット）



グラフ12 ネットトラブルの気持ち（10年間合計）



子どもの声

これパソコンで投稿してるだけビスマホ持ってなくて、ラインできないから遊びにもいけないし、グループラインにも入れない。だから友達と距離ができる。親に言っても「まだ」しか言わない。もう無理。

騙されて自分の個人情報を教えてしまった。

いつも一緒にいる友達の話についていけない。だいたいスマホの中の話ばかり。私高校生なんだけど、兄弟が多くてスマホがないんだよね。でも友達は、インスタとかTikTokの話ばかりで、ついていけなさすぎて辛い。



SNSで知り合った高校生に裸の動画を送ってしまった。拡散したらどうしよう・・・

ネットゲでできた年上異性のネ友とほぼ毎日話してる。普通に一緒にやるの楽しくてやってるけど、自分はやりたいこともやらなきゃいけないこともあって、でもゲームの誘い断りたくなくて結局やれずに深夜までゲームして終わってしまう。このまま何も成し遂げられずに人生終わるのかな。

勝手に自分の動画をアップされた。

元彼女の写真をAIで裸に加工してしまった。怖くなって消したが、ばれていないか心配。とても大変なことをしてしまったと反省している。

大切なネツ友を傷つけてしまったかもしれない。冗談でもなんであんなこと言っちゃったんだろ…取り消しもできなくて、返信がずっとない。モヤモヤして息が詰まりそう…誰か仲直りの方法教えて…



子どもの声

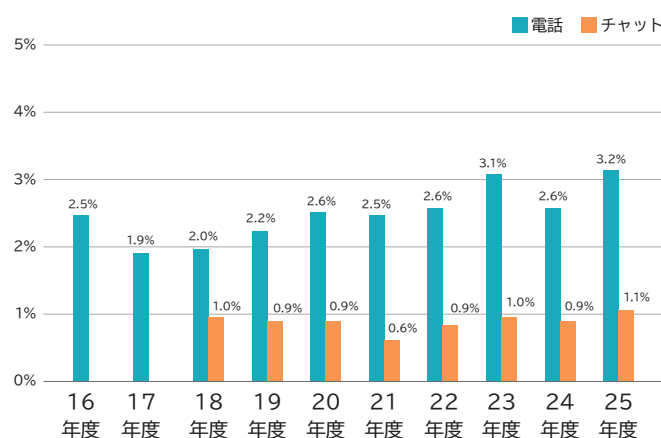
今、私は6年生なのですが、5年の時の担任（男）が、すごく絡んできて、この前は「掃除をしよう」と体育館に呼び出され、行ったら私1人が呼び出されていて、「話をしよう」と言われたので少し話していたら急に抱き上げられて、暗がりに連れていかれ膝に乗せられました。他にも、「〇〇が卒

性被害

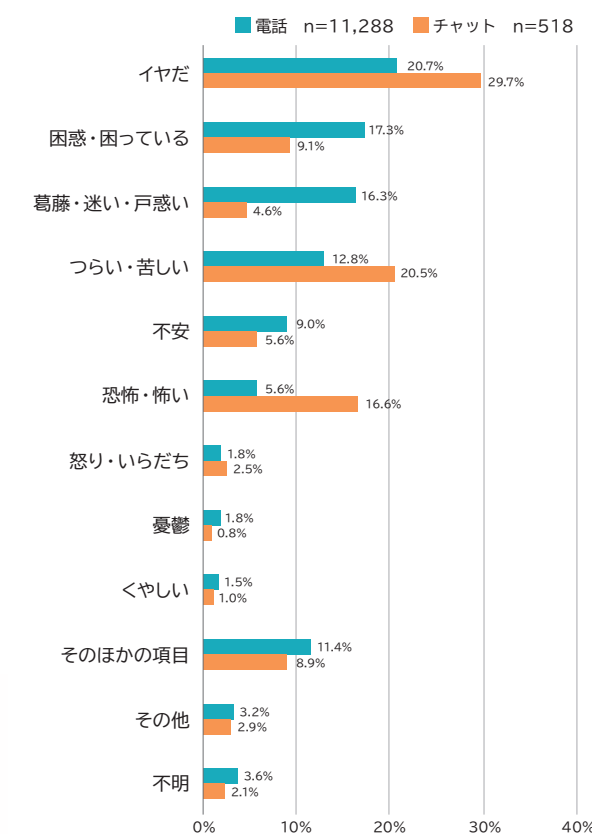
若年層（16～24歳）のうち、26.4%が何らかの性暴力被害に遭っています。若年層の12.4%（女性15.0%、男性5.1%）は、身体接触を伴う被害に、若年層の4.1%（女性4.7%、男性2.1%）は、性交を伴う被害に遭っています（内閣府男女共同参画局 令和5年6月13日「こども・若者の性被害に関する状況等について」より）。

会話成立に占める割合としては多くありませんが、チャイルドラインには父母、養父母、祖父母からの性虐待のほか、兄弟姉妹、同級生、教師、部活のコーチとさまざまな人からのセクハラ、デートDVも含めた性暴力の声が寄せられます（グラフ13）。性被害だけでなく、子どもが加害者側の場

グラフ13 性被害の10年間の割合推移（電話・チャット）



グラフ14 性被害の気持ち内訳・割合（10年間合計）



業したらどうしよう」などと言いながらハグをしてきたり、その他にも、手紙を渡されたりと、沢山嫌な思いをしました。

父親から性的虐待を受けている。ただ話を聴いて欲しい。

父親と一緒にふろに入られる。

バイト先の先輩がセクハラしてきて怖い。シフト変えても入ってきて、結構えぐめのセクハラで普通に胸とか触ってくる。セクハラ発言も多くて舐め回すような目で「可愛いよね」とか言ってくる。特にヤバいのが二人きりのときにデリケートゾーン触ってくるとこ。さりげなくやってくる。泣きそう。

「電話」「オンラインチャット」で受けとめた声

〈生きづらさ・不安を抱えた子ども〉

就労支援 A 型に通っている。先輩を怒らせたら、話してくれなくなった。

専門学校か訓練校かどちらで迷っている。療育手帳を持っている。将来の目的もないのに行ったところで、不安もあって体調も悪い。気分の落ち込みがひどくなったこともある。死ぬことも考えた。一番の不安は、将来のこと、やりたいことができるのか、生きていけるのか、精神病になってしまうんじゃないか？この悩みを親に相談していたら、親がうんざりしている。親に申し訳ないという気持ちで、ごめんなさいとあやまった。

18 歳になったら、放課後デイサービスに行けなくなる。チャイルドラインも 18 歳になったらかけられなくなる。18 歳になったら、使えない、行けなくなるところが多い。18 歳になったら使えなくなる薬もあるって。18 歳、あと 1 年でいろいろ変わることがある。

検査と幼少期からの傾向で、ADHD の診断がついた。今日は、進路のこと、勉強のことで相談しようと思った。学校の先生には相談してない。塾の現代文の先生に相談した。頭の中のノイズ、砂嵐のようになっていて、集中して勉強できたことないし、いつもいろいろなことを考えている。授業中、他の人には気づかれないうけど、空気が読めなかったり、集中できていない。気になって、ネットで調べて、通院することになった。

〈多様な困り・なやみ〉

女子同士の、心を探り合うコミュニティが苦手。怒りや不満をため込む自分自身にも嫌気がさしている。

兄とは父が違うことについて母が話してくれない。自分の生い立ちを知りたい。

先生が男女差のある扱いをしてくることに違和感を感じている、女子は優遇されていて男子は雑な扱いを受けているのが理解できない。

卒業前に同性の好きな人に告白したいがどんな手紙を書いたらいいか。このことはずっと友達にも誰にも言えずチャット GPT に相談してたけど、AI と違って対話している感じがした。人と話すのっていいですね。

女の子が好きですが、出会いがなくて恋愛ができなくてさみしい。今すぐ解決できることじゃないってわかっているけど、どうしても苦しい。新しい友達は増えたらいいけど、友達関係は深く狭くがいいので、焦りたくないけどどうしても早く満たされたい。

性自認が異なっているため、学校になじめず不登校だった。進学したけど行けるか不安。人と違うことがわかるとさけられてしまう。

5 人家族で姉と兄から暴力を受けている。

コンドームをつけずに彼女と性交渉をした。妊娠しないよね。これからは気をつけるけど。

バトミントン部のキャプテンをしているが、原因はわからないが何もうまくいかない。

父は三年前、対人関係で退職。働かない父が原因で母も不調に。経済的にどうしたらいいかわからない。頼れる人がいない。生きていくのが辛い。

〈話し相手を求める子ども〉

テストで良い点を取り、嬉しかった気持ちを、誰かに伝えたかった。

話を聞きたい。私じゃなくてお話してほしい。

好きな女の子とデートして、今帰ってきた。テストの点もよかったし、今日はすごくいい日だった。

いろんな話をしたい。私も話すけど、相談員さんの話もききたい。

HP 上にある 24 時間気持ちを書き込める「つぶやく」に寄せられた声

消えたい。大人はわかってくれない。ネットの相談できる場所で相談してももっと追い詰められた。つらい全部私が悪い。そう思っちゃう。消えたいなんて言わないでって言われたってどうにもなんないんだよ。周りは悪くない。ただ私が悪いわたしがわるい。しにたくない。いなくなりたいの現実逃避なんて言わないで。相談するところなんてない。

学校に気軽に相談出来る場所が欲しい。相談しても家の人にも連絡がいかないようにしてほしい。

クラス替え怖い…去年のようになりたくない…

自分ってなんだろう。心から笑える日はあるのか。親にかくしてばっか。毎晩毎晩泣いて死にたいと思いつらい思いをし、またこの繰り返し。もう嫌だ。何で産まれたのだろうか。この命を他の人にあげたい。消えたい。何もなかったかのように。

社会にでたら、もっと大変なことがたくさんあって、学生のうちはまだまだ楽しい方なのかもしれない。でも、今つらい。生きてる意味がわからない。そう思う自分が嫌いだし、疲れる。

親の期待に応えられない。どうしたらよいのかわからない。

女性として生まれましたが、自分は男性にも女性にもなりたくないです。女子トイレに行くのが嫌で、いつも我慢して行っています。男性が青で女性が赤なのだとするのなら、自分は緑として生きたいです。

性別って男と女しかないん？今は令和じゃないの？女が僕って言って何が悪いの？男だから？女だから？もっかい言うけど、今は令和なんだよ？

助けて。家族が怖い。誰も信じらんなくなっちゃった。僕の居場所はネットだけなのかな…？助けてよ。

言いたいことがあるけど言う勇気が出ない。

最近体が女性らしく成長していくことに嫌悪感を抱いていることに気がついた。自分の体が気持ち悪くて仕方がない。だけど性自認が男性という訳では無いと思う。難しい。

「どこからが虐待かわからない」ゆうことを聞かないとかみのけをひっぱられたり、たたかれたり足で手を踏まれたりします。もっと機嫌が悪いと「一緒に死のっか」など怖い言葉を言ってきます。でも服を買ってくれたり、わがままは聞いてくれる方が多いです。これは逃げるべきなのでしょうか。それとも他の方法をするべきでしょうか。みなさんの考えを聞きたいです。

お兄ちゃんがお父さんに虐待されてる。今日だって思いっきり殴られてたし。警察にも怖くて相談できない。自分には暴力は振るわれないうけど怖くてこんな家にいたくない。

※事例は、個人が特定できないようプライバシーに配慮し再構成しています。

HP に設置した目安箱「おとなにいいたい」に寄せられた声

スクールカウンセラーに自分から行く気力も勇気もないから、定期的に全員、カウンセラーの人が面談してくれたら、相談しやすいのに。そうじゃなかったら、不登校とかになるまで誰にも相談できない。

学校の相談室をもっと利用しやすくしてほしいです。相談室にいるスクールカウンセラーだけに話を聞いてほしいのに、その前になぜ担任に話を通さなければいけないのでしょうか。そのせいで相談することができず、本音を言える居場所がありません。なので、誰にも話を通さず気軽に相談室に行って相談できる環境を作してほしいです。

学歴に囚われずに子どもの個性を尊重してほしい。決して漫画を書くことが悪いことじゃない。芸能人になりたいという夢は変じゃない、大人の勝手な偏見で子供の未来を夢を希望を潰さないで欲しい。子どもの進路について何度も聞くのはやめて。自分に向き合っているんです。だから、そっと見守って欲しいです。

田舎は、田んぼや住宅はあるけど、子どもの居場所が少ない。子どもが過ごせるような場所がない。公共交通機関が発達していないから、車での移動が基本。でも子どもは車を運転できないから、迎えを待つしかない。両親が共働きだと迎えに来られない。迎えを待っているときどこで待てばいいかわからない。外で待っていて雨が降ってきたり、雷が鳴ったりすると怖い。冬は寒すぎる。

不登校の子だけ面談を通してやっと別室登校ができるのはおかしいと思う。別室登校とまではいかないけど休憩室があつていいと思う。

大人だからって何でもしていいわけじゃない。大人の言うことすべてを聞き入れることだってしたくない。大人の都合で怒らないでほしい。こんなメッセージも親に届くわけがないのに。

学校で配られた iPad で電話相談したい。

ジェンダーや LGBTQ+ の事をよく考えてください。あと、男らしさ、女らしさと言う考えを捨ててください。

ニュースで、「痴漢をされたことを周りの人に言ったらスカートを履いている方が悪いんだ」と言われた人の話を見ました。こんな国に生まれたくはなかったです。犯罪者の方を守る国にいたくないです。

「あれ、学校は?」「そんなの大丈夫!」優しさや疑問で言ったのかも知らないけど、意外と傷つく。だって、私のことを考えずに言っているように聞こえるから。

学校のタブレットとかで、相談できるチャットに入れるようにしてほしい。スマホがない子どもの居場所がない。チャット相談サイトがもっとたくさん欲しいです!

香害がきつい! 電車とかで暑いのにマスクするのは苦痛! 優先席付近では香水禁止! にしてほしい!

意見を否定して、自分の好都合な方へと誘導しないで欲しい。私たちはまだ経験が浅いから、大人よりもきつともっと長く自分で考える時間が必要です。それを理解して欲しい。そして今すぐ全員が行動を見直して欲しい。また自分がどうであれ、これから社会がどうしていくべきか考えて欲しい。社会を変えよう。とか口先だけでなく全員で行動に移してみませんか。悩みを抱え続けたり、自ら命を絶つ仲間を減らしたいです。

子どものいじめに関する話を真剣に聞いて考えてほしい。僕たちが一人で悩みを抱え込まないようにしっかりと話を聞いてほしい。

HP 上からよせられた感想・意見

親には、話せないことも言えるし、すごく楽になります。チャイルドラインは私の相棒です。

2 年ぶりにここに電話でヘルプを求めました。泣いても「しんどかったなあ」って優しく聞いてくれてほっとしました。相談が進んでいって、最終的には「シェルターに電話しよう。」ってなって「どこにかけたらいいのかわからんからどうしよう。」ってなったら一緒に調べてくれました。嬉しかったです。ありがとう。また電話かけます。そしてこのおかしな世の中を生き抜いてみせます。

いくら待ってもなかなかオペレーターさんにつながらない。もう相談するのはあきらめた。(チャット)

21 時だと親が起きていて電話できないのもうちちょっと遅くまでやって欲しいです。

相談できる時間を、24 時間受付中にしてほしい。電話は家族の前で使いたくないし、「なんで電話してるの」とか言われたくないから。(チャット)

なかなか電話かける暇ないしチャットする時間もない。だけど、一息つきたい時に「つぶやく」に自分の気持ち書き込んだりしてる。その時、心のどこかで一息ついたような感じがしてほっとする。そういう居場所を提供してくれてありがとう。受け手さんも、まずは自分の身体を大事にしてね。いつか電話かけたりチャットでお話できることを目標にして私も頑張るよ。ありがとう!

中学生の時に一度利用したのですが、10 年経った今でも、「あのお姉さんやさしかったなあ」「うれしかったなあ」と思い出すことがよくあり、どうしてもお礼を伝えたくて、ここに来ました。

当時、毎日消えてしまいたいほどつらくて、電話して泣きながら 1 時間くらい話を聞いてもらいました。気持ちが落ち着いてきて泣き止んで、相手の方に「最後になにか話したいことある?」と聞かれました。

「どうしてこの仕事しようと思ったの?」と聞いたところ、「なんでだろう...でも、あなたと話せてすごく嬉しかったよ」って言うてくれました。それが本当に嬉しくて、その声を今でもはっきり思い出します。

その時は大人になる未来なんて見えなかったけど、今はちゃんと大人になりました。たった 1 回のつながりでも、話を聴いてくれたことは、その後の人生ですっと心に残り続けています。これからも活動を応援しています。

最近、学校でタブレットが配布されているので、タブレットでもチャットができる様にしてほしいです。

朝なら時間があるけど、夜は時間がないので朝 6 時くらいからチャットを始めてほしいです。

つぶやき機能はいいんだけど「がんばれ!」とかの反応がしたいです。理由は、わかる一つで伝えたいけど、つぶやきでは届いてるかわかんないからです。

実施概要 2025 年 4 月 1 日～ 2026 年 3 月 31 日 厚生労働省 令和 7 年度自殺防止対策事業

電話（統一番号フリーダイヤル） 以下「電話（FD）」

電話番号：0120-99-7777（日本全国共通 / 携帯電話、公衆電話も通話無料）

実施日時：毎日16 時～21 時

〈夏の全国キャンペーン〉2025 年 8 月 22 日～9 月 4 日 時間延長実施 15 時～22 時

※一部地域では通期で時間延長実施、11 月 20 日～11 月 26 日 24 時間受信実施

※年末年始 12 月 29 日～1 月 3 日は休止

ネットでんわ（スマホアプリによる通話）

実施日時：毎週月曜日と月第 1 木曜 16 時～21 時

〈夏の全国キャンペーン〉2025 年 8 月 22 日～8 月 28 日 毎日時間延長実施 15 時～22 時

※年末年始 12 月 29 日～1 月 3 日は休止

オンラインチャット

チャイルドライン支援センターウェブサイト上に専用ページ設置 <https://childline.or.jp/chat>

実施日時：月～土曜日 16 時～21 時

〈夏の全国キャンペーン〉2025 年 8 月 22 日～9 月 4 日 毎日時間延長実施 15 時～22 時

※年末年始 12 月 29 日～1 月 3 日は休止

つばやく

チャイルドライン支援センターウェブサイト上に専用ページ設置 <https://childline.or.jp>

24 時間 365 日書き込み可能

トラヒックデータ〈集計データの概要・特徴〉

・集計日 2026 年 5 月 1 日

・電話は NTT ドコモビジネスのトラヒック調査ツールより、オンラインチャットは AI.BiS のシステムツールより、取得し分析したものです。

・同じ人が複数回かけてきている場合があるので、「着信数・書き込み件数＝利用人数」ではありません。

（注）データ集計は自動計算で、各データの小数点をまとめています。そのため、同じ項目のデータでも集計の仕方によって違いが生じている場合があります。違いがある場合は、「利用状況」のデータを利用してください。

利用状況

電話（FD）

単位：特記以外は「件数」

2024 年度と比べて、発信数、着信数ともに増加、着信率は若干低下しました。総実施時間は減少しましたが、総通話時間はわずかに増加しました。

項目	2025 年度	1 日あたり（開設 359 日）平均	2024 年度比	2024 年度
発信数	355,784	991	+44,050	311,734
着信数	179,863	501	+15,839	164,024
うち固定	17,745	49	+1,299	16,446
うち公衆	3,134	9	-374	3,508
うち携帯	159,089	443	+15,019	144,070
着信率（会話できた率）	50.6%		-2.0 ポイント	52.6%
かけた人数（人）※	60,597	169	+1,043	59,554
つながった率※	62.9%		-3.1 ポイント	66.0%
平均通話時間	4 分 19 秒		-10 秒	4 分 29 秒
10 分以上の通話	24,021	67	+307	23,714
着信数比	13.4%		-1.1 ポイント	14.5%
総通話時間（時間）	12,940	36	+701	12,239
総実施時間（時間）	32,572	91	-1,221	33,793
稼働率	39.7%		+3.5 ポイント	36.2%
時間着信数／回線	5.5		+0.6	4.9

※今回から「かけた人数」の集計方法が変更されたため、2021 年度以前データと比較できないため、記載を省略しました。また「つながった率」も併せて計算式が変更となっています。

※「つながった率」とは同日中に電話をかけた人数のうち、何人着信できたかを表しています。 ※「10 分以上の通話」は平均通話時間以上で、一定会話が深められる時間として設定しました。

※「総通話時間」着信した電話の通話時間の合計。 ※「稼働率」総実施時間のうち、通話していた時間の比率を表しています。 ※「時間着信数」1 回線あたりの 1 時間に着信した件数を表しています。

※着信の端末別件数の合計値の差異は、NTT サーバー上のデータの差異によるものです。ご了承ください。

オンラインチャット

2024 年度と比べて、開設日（309 日）、訪問件数、書き込み件数、対応件数、訪問人数など全体的に増加しました。総実施時間、総対応時間も増えましたが、全体の件数増化に伴い対応率・つながった率が減少しました。

項目	2025 年度	1 日あたり（開設 309 日）平均	2024 年度比	2024 年度
訪問件数	239,243	774	+69,914	169,329
書き込み件数	58,748	190	+10,389	48,359
対応件数	18,964	61	+857	18,107
うちスマホ・タブレット	11,344	37	+73	11,271
うち PC	7,619	25	+783	6,836
対応率（会話できた率）	32.3%		-5.1 ポイント	37.4%
ユニーク訪問人数（のべ）	135,835	440	+40,336	95,499
書き込み人数（のべ）	57,155	185	+9,466	47,689
つながった人率	42.1%		-7.8 ポイント	49.9%
平均対応時間（1 対応件数あたり）	40 分 18 秒		+2 分 7 秒	38 分 11 秒
40 分以上のチャット	7,826	25	+776	7,050
対応件数比	41.3%		+2.4 ポイント	38.9%
総対応時間（時間）	12,739	41	+1,218	11,521
総実施時間（時間）	11,802	38	+567	11,235
稼働率	107.9%		+5.4 ポイント	102.5%
時間対応数／1 回線	1.6		+0.6 件	1.0

※「訪問件数」チャットシステムに入室した延べ人数で、電話における発信数にあたります。

※「書き込み件数」対応した・しない、に関わらず、子どもが何らかの書き込みをした数（チャット特有の数値）。 ※「対応件数」受け手が何らかの書き込みをした数（ガイドンスは除く）。

※「対応率」書き込み件数に対して対応した比率。 ※「ユニーク訪問人数」実際にチャットシステムに訪問した人数（IP アドレスの重複を除いていますが、月が替わると 1 カウントとして計上されます）

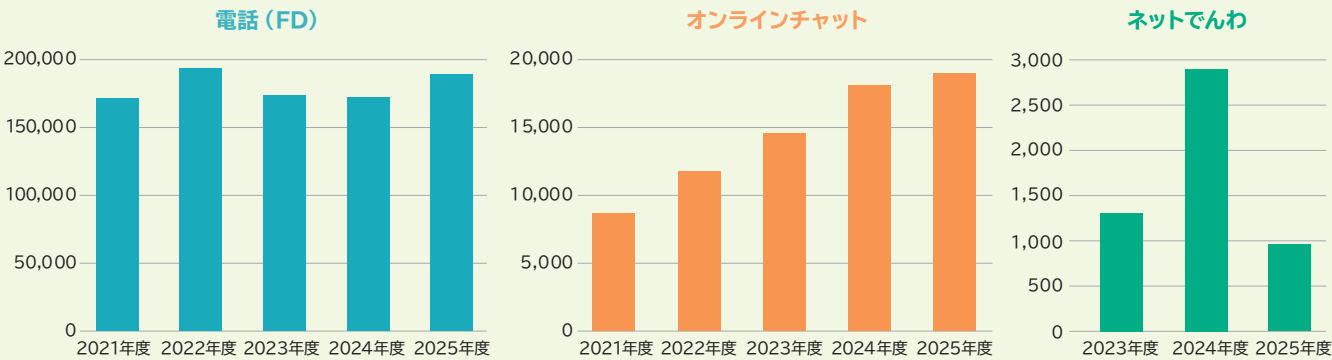
※「40 分以上のチャット」平均対応時間以上で、ある程度会話が深められると考えた時間。 ※稼働率＝「のべ実施時間」あたりの「総対応時間」の比率。

（稼働率が 100％超について：「のべ実施時間」は、実施予定表（オンラインチャットスプレッドシート）から積算されており、そこに記載された実施時間・パソコン台数等が実際の実施と異なっていること、対応できた人の対話時間以外の時間も含まれていることが原因）

ネットでんわ

項目	2025 年度	1 日あたり（開設 68 日）平均	2024 年度比	2024 年度
発信数	1,073	16	-1,958	3,031
うち iOS	221	3	-130	351
うち Android	852	13	-1,828	2,680
着信数	943	14	-1,764	2,707
着信率（会話できた率）	87.9%		-1.4 ポイント	89.3%
かけた人数（人）※	216	3	-172	388
つながった率※	87.5%		-4.8 ポイント	92.3%
平均通話時間	5 分 44 秒		+3 分 50 秒	1 分 56 秒
10 分以上の通話	62	1	-52	114
着信数比	6.6%		+2.4 ポイント	4.2%
総通話時間（時間）	38	1	-31	69
総実施時間（時間）	567	8	-107	674
稼働率	6.7%		-3.5 ポイント	10.2%
時間着信数／回線	1.7		-2.4	4.0

アクセス件数年度別推移（着信件数／対応件数）



データベース

〈集計データの概要・特徴〉

- ・集計日　2026 年 6 月 11 日
- ・子どもの話を聴く「受け手（子どもからの電話・オンラインチャットを直接受ける人）」が感じた子どもの状況を、子どもが特定できないよう独自データベースに集積し分析したものです。
- ・匿名性を尊重するため、同じ人が複数回かけてきている場合があり、同じ内容の件数が増えていることもあります。（「件数=人数」ではありません。）
- ・集計にあたっての分母は、「着信の内訳」を除き、「会話成立（子ども）」数です。（ただし、合計値には「未入力」も含まれるため、一致しない場合があります。）
- ・単位表記のない数値は全て「件」。

着信の内訳

電話（FD）での子どもとの会話成立は 22.2%でした。

無言は 50%を超えています。無言には、つながった途端に切れるものと長く無言のまま切れるものがあります。

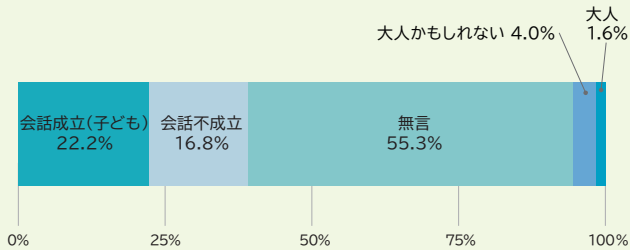
無言や会話不成立には、お試しでかけてみた場合やつながったものの話し出せなかった場合もあると考えられます。

オンラインチャットでは、子どもとの会話成立が 80%を超えています。

ネットでんわでは会話成立が 12.7%と低く、無言は 64.5%でした。

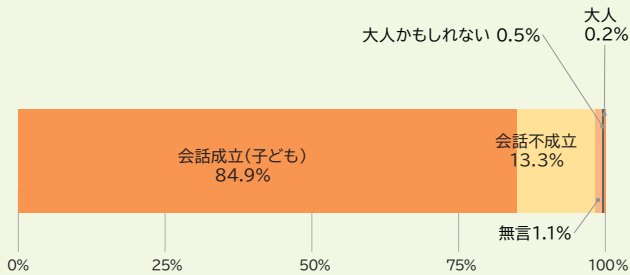
電話（FD）

	着信数	比率
会話成立（子ども）	37,847	22.2%
会話不成立	28,671	16.8%
無言	94,309	55.3%
大人かもしれない	6,872	4.0%
大人	2,755	1.6%
合計	170,454	100.0%



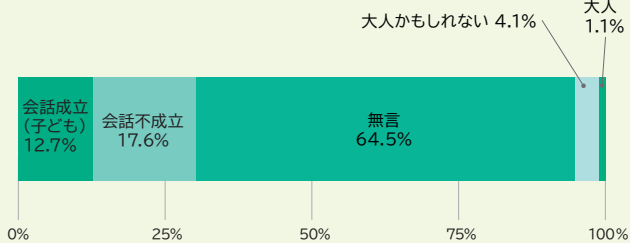
オンラインチャット

	着信数	比率
会話成立（子ども）	11,862	84.9%
会話不成立	1,854	13.3%
無言	160	1.1%
大人かもしれない	71	0.5%
大人	24	0.2%
合計	13,971	100.0%



ネットでんわ

	着信数	比率
会話成立（子ども）	117	12.7%
会話不成立	162	17.6%
無言	595	64.5%
大人かもしれない	38	4.1%
大人	10	1.1%
合計	922	100.0%



※「会話不成立」はコミュニケーションが成立しないもの、性的な目的でかけてきたものなどを分類しています。 ※「会話成立（大人かもしれない）」は、内容・言葉使いなどから受け手が「大人かもしれない」と感じたものです。
※未入力のデータがあるため、トラヒックデータとは一致しません。

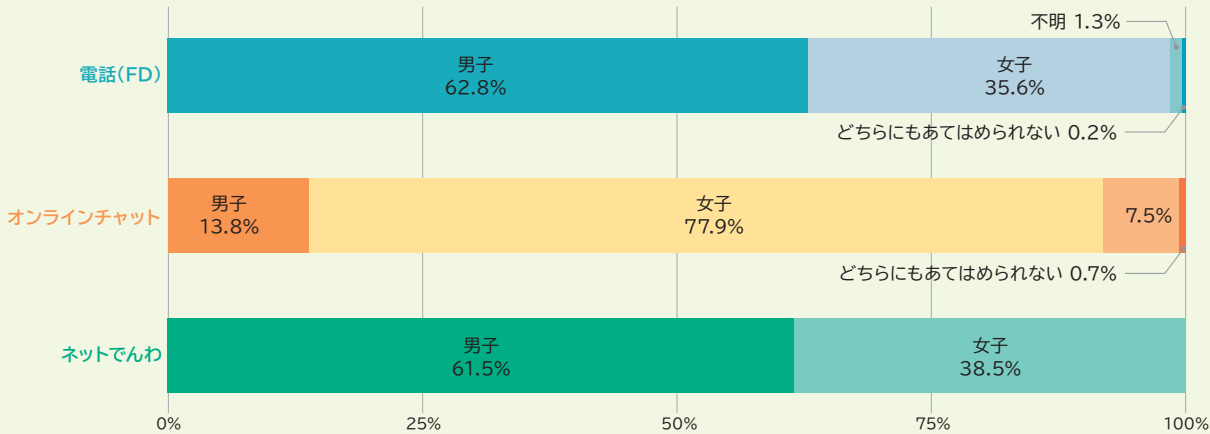
「会話成立（子ども）」について分析

（電話（FD）：37,847 件／オンラインチャット：11,862 件／ネットでんわ：117 件）

性別

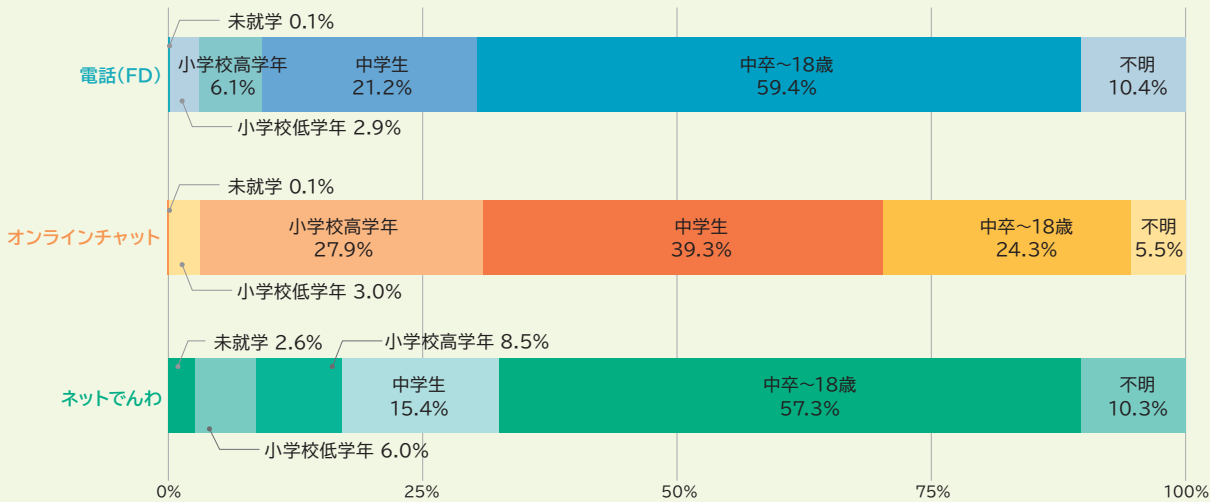
電話（FD）・ネットでんわでは男子の割合が半数を超え、オンラインチャットでは女子の割合が 8 割を超えています。

	男子	女子	不明	どちらにもあてはめられない	合計
電話（FD）	23,776	13,476	509	86	37,847
	62.8%	35.6%	1.3%	0.2%	100.0%
オンラインチャット	1,641	9,242	893	86	11,862
	13.8%	77.9%	7.5%	0.7%	100.0%
ネットでんわ	72	45	0	0	117
	61.5%	38.5%	0.0%	0.0%	100.0%



年齢別

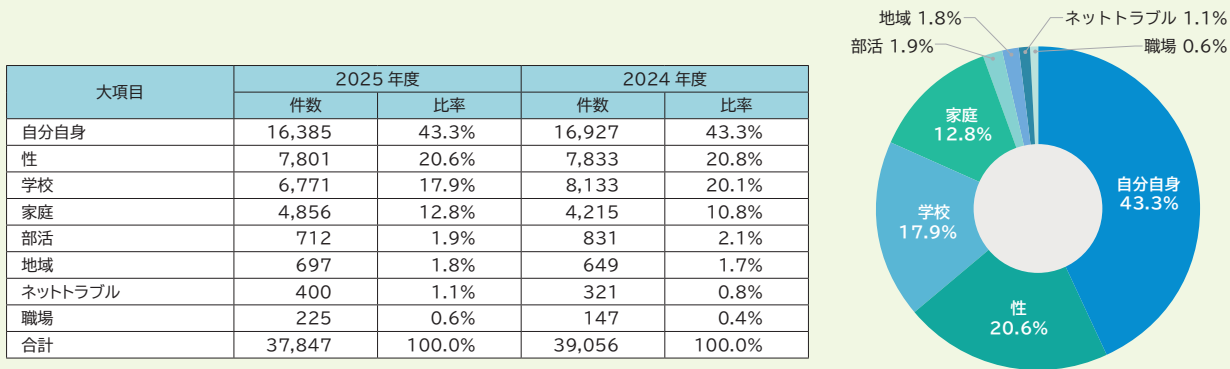
	未就学	小学校低学年	小学校高学年	中学生	中卒～18歳	不明	合計
電話（FD）	45	1,087	2,310	8,011	22,465	3,929	37,847
	0.1%	2.9%	6.1%	21.2%	59.4%	10.4%	100.0%
チャット	6	351	3,307	4,658	2,882	658	11,862
	0.1%	3.0%	27.9%	39.3%	24.3%	5.5%	100.0%
ネットでんわ	3	7	10	18	67	12	117
	2.6%	6.0%	8.5%	15.4%	57.3%	10.3%	100.0%



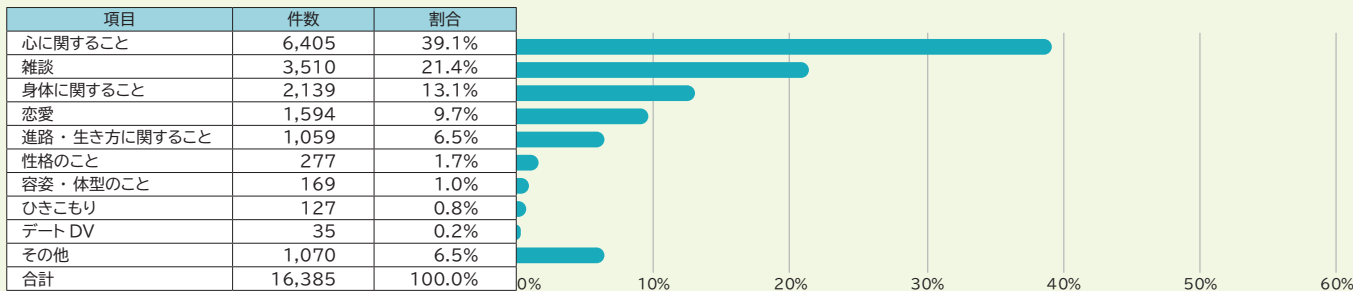
主訴

電話（FD）

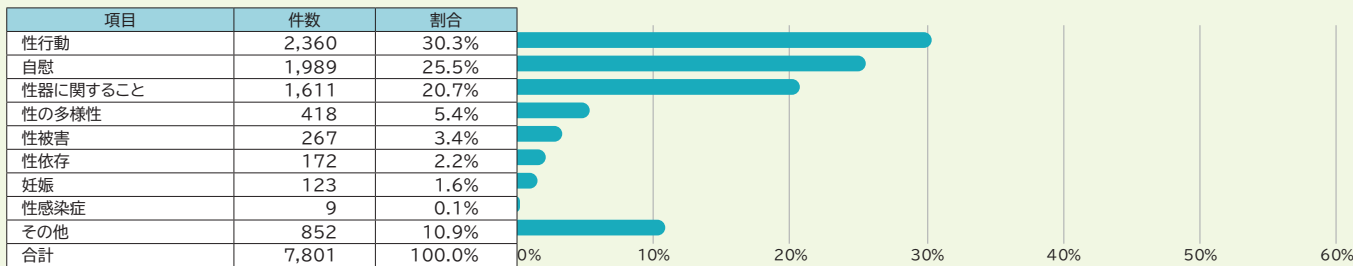
微増微減はありますが、割合は前年度とあまり変化がなく、子どもの話したい内容は多岐にわたることがわかります。「自分自身」の内訳では、「心に関すること」「雑談」が多くなっています。雑談については、たわいない話をしたい場合や試しにかけてみた場合、本当に話したい内容があったが話せなかった場合などが考えられます。「性」では、「性行動」「自慰」「性器に関すること」が多く、興味・関心も含めて、性教育の必要性を感じます。「学校」では「人間関係」が約半数を占め、「いじめ」「勉強・成績に関すること」と続きます。「家庭」でも「人間関係」が最も多く、半数近くを占め、親との関係性や意見の違いなどの声が多く寄せられます。「虐待」は約 29.2%になっています。



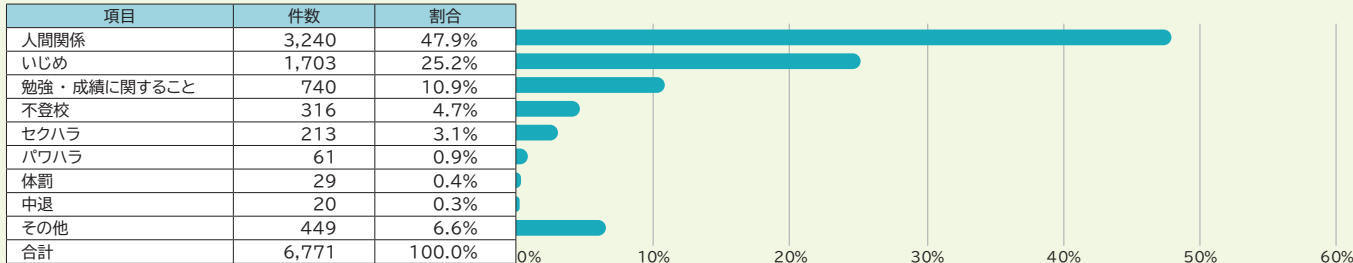
自分自身



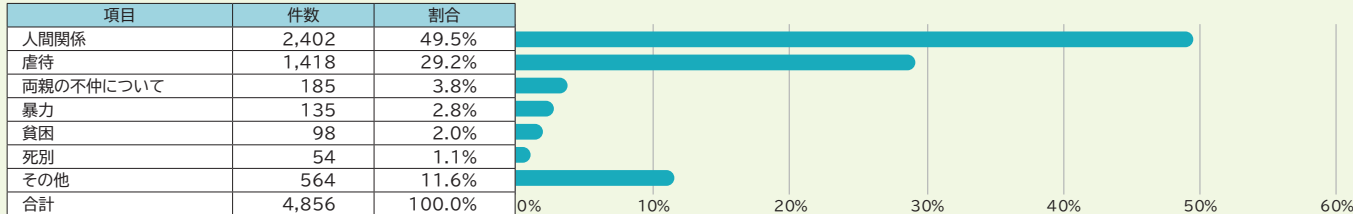
性



学校

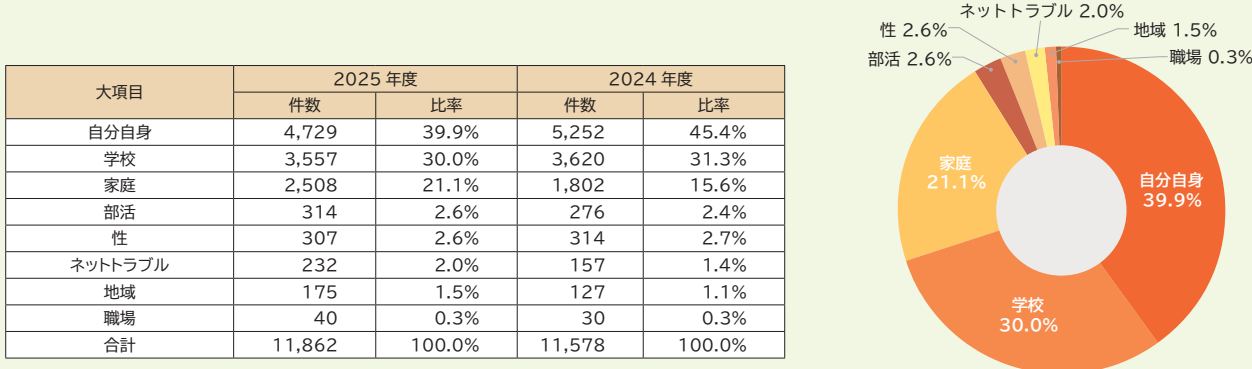


家庭

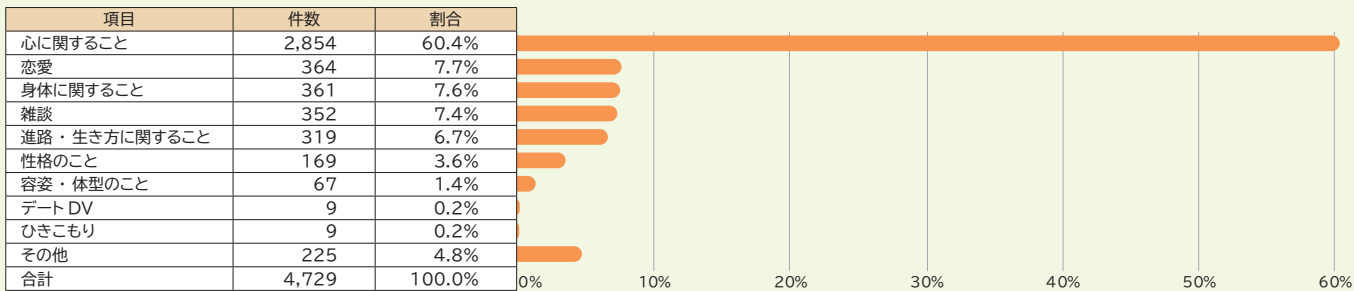


オンラインチャット

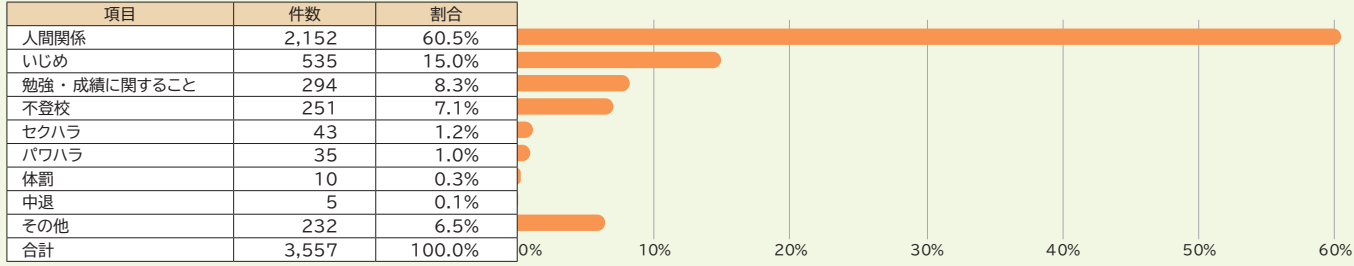
「自分自身」「学校」「家庭」のことで 90%を超えます。電話(FD) では 12.8%の「家庭」がオンラインチャットでは 15.6%となっていました。「自分自身」の内訳では、「心に関すること」が約 60%を占めます。「学校」では、「人間関係」が 60%を超え、次いで「いじめ」となっています。「家庭」でも「人間関係」が最も多く、約半数です。また「虐待」は、33.8%と増加傾向です。2025 年度は「性」より「部活」が若干多くなりました。「性」に関する内容自体が少ないのですが、内訳では「性の多様性」が半数を超えています。



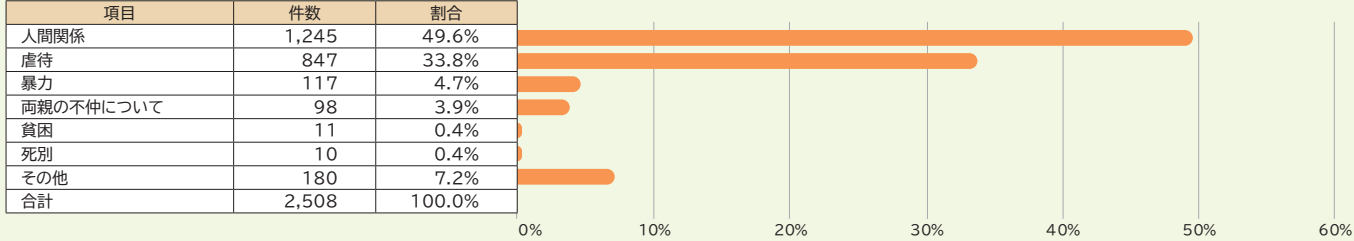
自分自身



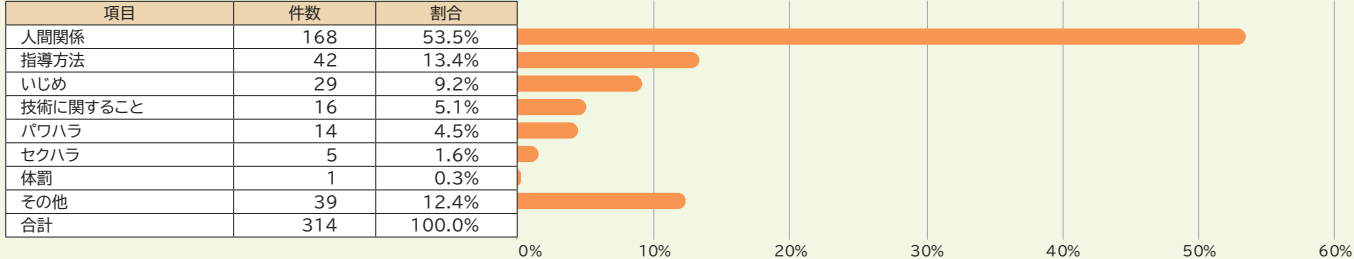
学校



家庭



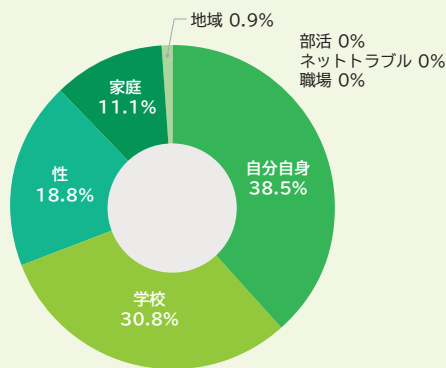
部活



主訴

ネットでんわ

大項目	2025 年度		2024 年度	
	件数	比率	件数	比率
自分自身	45	38.5%	104	54.2%
学校	36	30.8%	24	12.5%
性	22	18.8%	48	25.0%
家庭	13	11.1%	11	5.7%
地域	1	0.9%	1	0.5%
部活	0	0.0%	2	1.0%
ネットトラブル	0	0.0%	2	1.0%
職場	0	0.0%	0	0.0%
合計	117	100.0%	192	100.0%



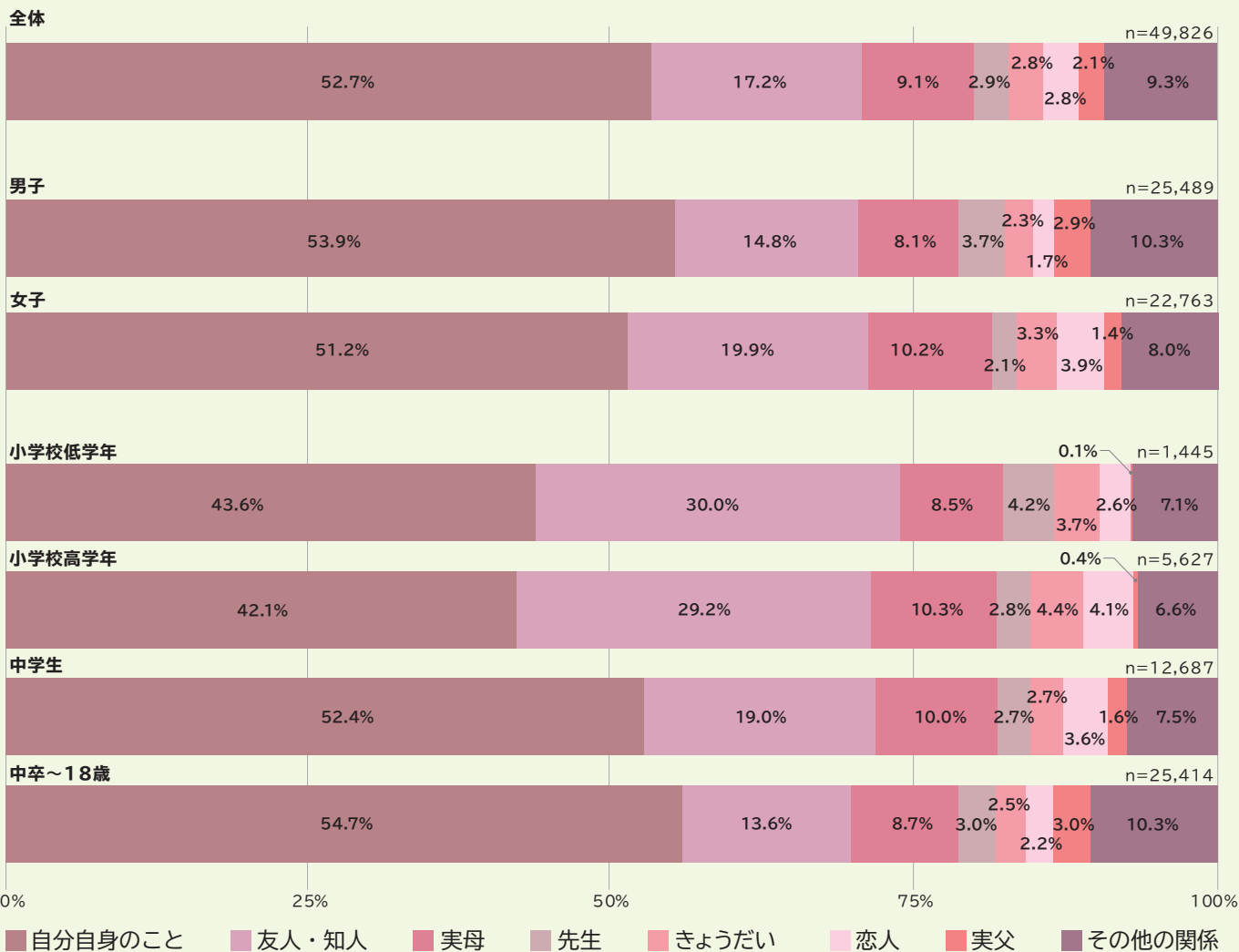
関係性

電話 (FD) ・オンラインチャット ・ネットでんわ

子どもの話した内容が誰のことなのか、また誰との関係で起こっていることなのかをまとめました。

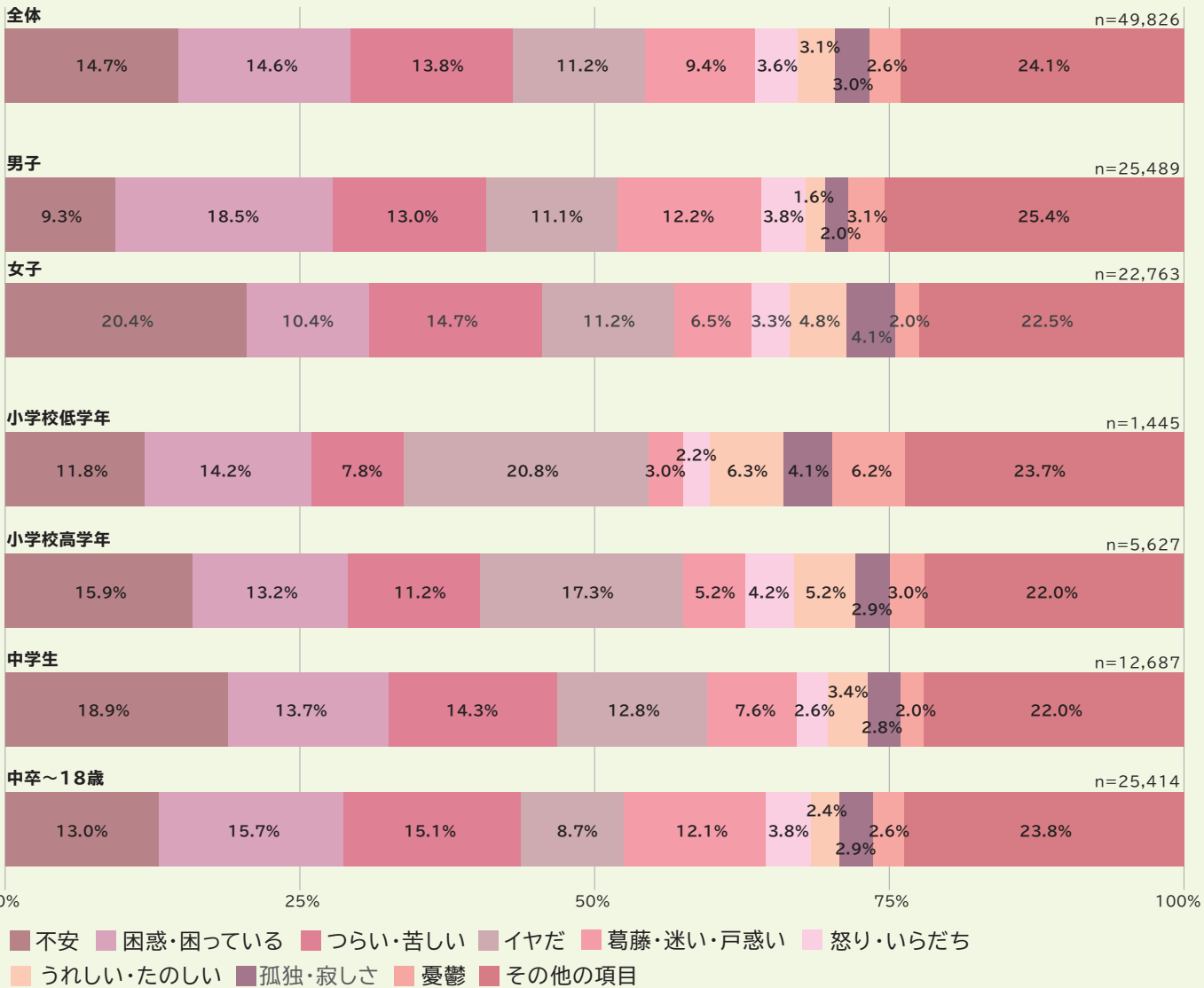
全体では「自分自身のこと」の割合が半分を占めます。女子は男子と比べて「友人・知人」が多くなっています。年齢別では、年齢が上がるにつれて「自分自身のこと」が増え、「友人・知人」が減っています。

*電話 (FD) とオンラインチャット、ネットでんわともに同様の傾向のため、合わせたデータとなっています。



気持ち

電話 (FD) ・オンラインチャット ・ネットでんわ *電話 (FD) とオンラインチャット、ネットでんわともに同様の傾向のため、合わせたデータ。



気持ち順の上位 9 項目と性別・年齢別一覧

男子は「困惑・困っている」、女子は「つらい・苦しい」、どちらにもあてはめられないは「つらい・苦しい」の割合が最も高くなっています。年齢別では、小学生は「イヤだ」が最も多く、中学生は「つらい・苦しい」、中卒～18歳は「困惑・困っている」と「不安」が高くなっています。*電話 (FD) とオンラインチャット、ネットでんわともに同様の傾向のため、合わせたデータとなっています。

性別 / 気持ち	全体 n=49,826	男 n=25,489	女 n=22,763	不明 n=1,402	どちらにもあてはめられない n=172	未就学 n=54	小学校低学年 n=1,445	小学校高学年 n=5,627	中学生 n=12,687	中卒～18歳 n=25,414	不明 n=4,599
つらい・苦しい	14.7%	9.3%	20.4%	21.2%	17.4%	22.2%	11.8%	15.9%	18.9%	13.0%	12.3%
困惑・困っている	14.6%	18.5%	10.4%	12.3%	16.3%	1.9%	14.2%	13.2%	13.7%	15.7%	13.5%
不安	13.8%	13.0%	14.7%	12.4%	14.0%	13.0%	7.8%	11.2%	14.3%	15.1%	10.6%
イヤだ	11.2%	11.1%	11.2%	11.4%	9.3%	14.8%	20.8%	17.3%	12.8%	8.7%	9.4%
葛藤・迷い・戸惑い	9.4%	12.2%	6.5%	4.3%	10.5%	7.4%	3.0%	5.2%	7.6%	12.1%	7.0%
怒り・いらだち	3.6%	3.8%	3.3%	3.2%	2.9%	5.6%	2.2%	4.2%	2.6%	3.8%	4.8%
恐怖・怖い	3.1%	1.6%	4.8%	4.4%	3.5%	1.9%	6.3%	5.2%	3.4%	2.4%	2.8%
孤独・寂しさ	3.0%	2.0%	4.1%	2.2%	0.0%	3.7%	4.1%	2.9%	2.8%	2.9%	3.5%
うれしい・たのしい	2.6%	3.1%	2.0%	2.4%	1.2%	7.4%	6.2%	3.0%	2.0%	2.6%	2.5%
その他の項目	24.1%	25.4%	22.5%	26.2%	25.0%	22.2%	23.7%	22.0%	22.1%	23.8%	33.6%

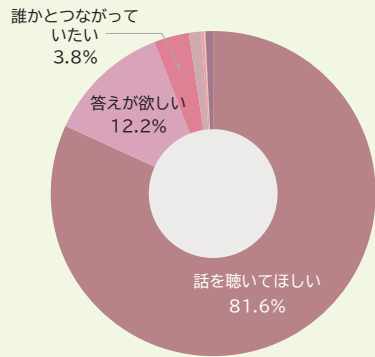
動機

受け手が感じた子どもがつながった動機は「話を聴いてほしい」が約 82％です。「話を聴いてほしい」「誰かとつながってほしい」を合わせた約 85％以上の子どもが「話し相手」を求めていると考えられます。

＊電話（FD）とオンラインチャット、ネットでんわともに同様の傾向のため、合わせたデータとなっています。

電話とチャットとネットでんわ合計

	件数	比率
話を聴いてほしい	40,671	81.6％
答えが欲しい	6,055	12.2％
誰かとつながってほしい	1,885	3.8％
お試し	457	0.9％
チャイルドラインについて	235	0.5％
社会資源情報を求める	67	0.1％
実際に動いて欲しい	29	0.1％
その他	427	0.9％
合計	49,826	100.0％



子どもを取り巻く社会課題

社会課題としてよく取り上げられる項目をまとめました。ほかのデータとは集計方法が違っているため、数字は必ずしも一致しませんので、ご注意ください。

電話（FD）ネットでんわ・オンラインチャット・合計の各内容と前年度比

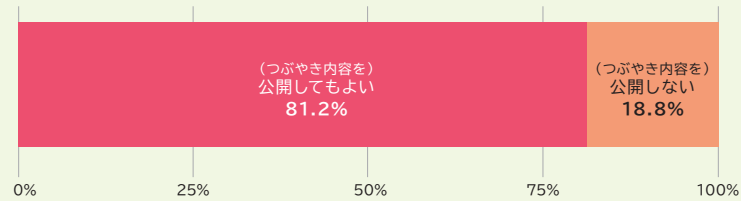
主訴	電話（ ）はネットでんわ		電話前年度比	オンラインチャット	オンラインチャット前年度比	合計	合計前年度比
いじめ	1886	(2)	-101	580	-5	2466	-106
	被害	1666	(2)	-200	12	2188	-188
	加害	176	(0)	117	-12	199	105
	傍観	43	(0)	-19	35	78	-24
虐待	1424	(6)	215	847	345	2271	560
	性的	595	(2)	30	27	622	36
	心理的	381	(3)	96	358	739	244
	身体的	253	(1)	63	307	560	202
	ネグレクト	131	(0)	50	37	168	53
	教育虐待	64	(0)	-24	118	182	25
希死（自殺）念慮	636	(0)	-100	309	-614	945	-714
ネットトラブル	400	(0)	77	232	75	632	152
	拡散	97	(0)	40	66	163	71
	出合い系	51	(0)	32	19	70	46
	料金	18	(0)	3	6	24	7
	依存	31	(0)	-8	10	41	-8
	その他	86	(0)	-2	77	163	21
不登校	316	(0)	-89	251	-2	567	-91
セクハラ	301	(0)	120	59	18	360	138
背景に希死（自殺）念慮がある（※）	280	(2)	-12	295	-32	575	-44
性被害	268	(1)	50	34	10	302	60
家庭内暴力	135	(0)	30	117	32	252	62
自傷行為	133	(0)	16	215	-96	348	-80
ひきこもり	127	(0)	-1	9	2	136	1
犯罪・暴力	113	(0)	38	23	9	136	47
パワハラ	113	(1)	28	55	3	168	31
体罰	37	(1)	6	13	3	50	9
デートDV	35	(0)	3	9	-8	44	-5
	加害	20	(0)	14	2	22	13
	被害	15	(0)	-11	7	22	-18
薬物乱用・依存	29	(0)	-8	8	-3	37	-11
総数	6,233	(16)	272	3,056	-263	9,289	9

※背景に希死（自殺）念慮がある：「主訴・希死（自殺）念慮」以外の、別な主訴にも、背景に「死にたい気持ち」を抱えていると思われるケースがあるので、その集計を行っています。
※一部詳細項目のデータが得られていないものがあり、詳細項目合計と項目合計が合わない場合があります。

つぶやく

24 時間いつでも匿名で気持ちを書き込むことができます。「公開してもよい」を選んだ書き込みの中から、毎月 50 件程度をホームページ上で公開しています。モヤモヤした気持ちを文字として言語化することで考えが整理され、少し気持ちが楽になると考えています。

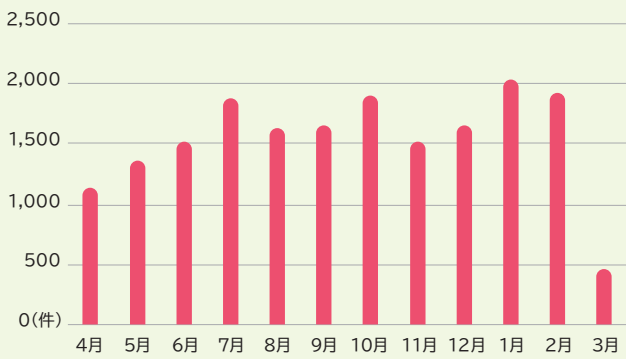
	書き込み数	比率
（つぶやき内容を）公開してもよい	15,185	81.2％
（つぶやき内容を）公開しない	3,506	18.8％
合計	18,691	100.0％



月別件数

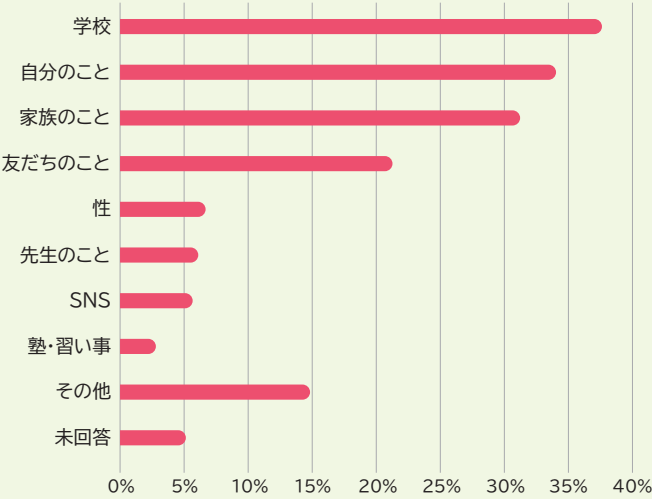
書き込みが多かったのは1月と2月で約 2,000 件となりました。次いで 7 月と 10 月が約 1900 件となっています。

※3月はウェブサーバーの不具合により、書き込みできない時期があったため件数が減少しました。



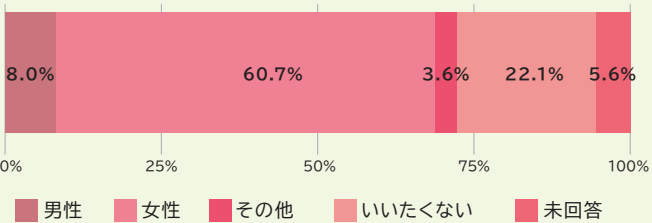
テーマ別（複数回答）

「学校のこと」「自分のこと」「家族のこと」の割合が高くなっていて、「友だちのこと」が続いています。一方、選ばれたテーマとつぶやかれた内容が一致していなかったり、選んだテーマから違うテーマの話になっていたりすることもあり、複数の悩みを抱えていることが見受けられます。



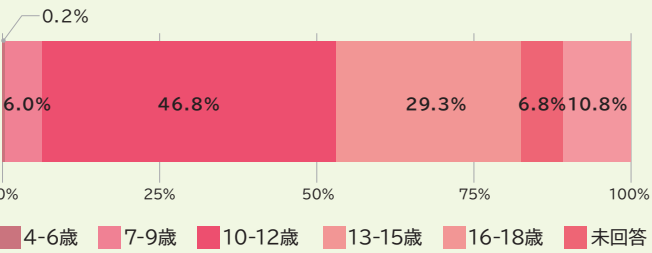
性別

子どもが選択した「性別」です。女性が半数を超えており、「言いたくない」が約 20％となっています。



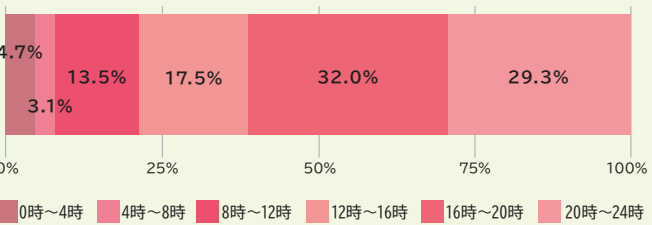
年齢別

子どもが選択した年齢です。小学校高学年が最も多く、次いで中学生となっています。



時間帯別

書き込んだ時間帯です。20 時～ 24 時の深夜帯が最も高い割合となっています。一方、学校に滞在していると思われる時間帯にも約 30％の書き込みがあります。



集計データから、子どもの状況を読み解く ～子どもの生きづらさはどこにあるのか～

四半期毎にテーマを設定し、2016 年度以降のデータの集計、考察を行いました。詳細はホームページをご確認ください。

第1四半期

学校に行きたくない・不登校

チャイルドラインデータベースにおける「不登校」は、具体的には「学校に行きたくない／最近 学校に行かなくなり始めた／30 日以上休んでいる・休んでいた」などの内容。そのうち、約半数の内容が「学校に行きたくない／最近学校に行かなくなり始めた」で、残りの約半数が、「1ヶ月以上学校を休んでいる＝不登校」状態の子ども達であると、一部データから推測される。文部科学省の調査によると、不登校の子ども数は増加の度合いが高まり、議論が高まっている。過去 8 年間で集計し傾向をみた。



https://childline.or.jp/wp/wp-content/uploads/2025/09/trend_2025_04-06.pdf

第3四半期 希死念慮

チャイルドラインは子どもの生きやすい社会をめざし、子どもの声を聴いているが、2025 年 538 人の小中高生が自死を選んだ。子どもの生きづらさがどこにあり、どう解消するかは社会の大きな課題である。チャイルドラインに入る主訴「希死念慮」の電話は 2016 年ごろ 1%前後で推移していたが、2022 年 4 月から 2024 年 4 月ごろにかけて増加傾向、その後おおむね「横ばい」とここ 3 年割合がやや高いままである。10 年間の 365 日別主計、気持ち、つながった動機、通話時間など他の主訴とはやや異なる傾向がみえている。



https://childline.or.jp/wp/wp-content/uploads/2026/05/trend_2025_10-12.pdf

第2四半期

前向きな話・楽しい話

いじめや不登校、虐待、性の話題などを取り上げ、分析することが多いが、今回は視点を変えて「悩み」とは反対の「前向きな話・楽しい話」に焦点を当てた。具体的には「気持ち」としてデータベースに集計しているうちの、「うれしい・たのしい」「幸せ」「楽しみ・期待」「満足・充実感」の4つの項目を「前向きな話・楽しい話」とまとめた上で、さまざまな角度から分析を行なった。電話で7%程度、オンラインチャットでは2%程度と少数だが、子どもたちの状況を知るための貴重な一側面であることに変わりない。



https://childline.or.jp/wp/wp-content/uploads/2025/12/trend_2025_07-09.pdf

第4四半期

割合の少ない主訴の背景

チャイルドラインのデータベースにおいて主訴が8つあるなかで全体に占める割合が少ない主訴である「部活／地域／ネットトラブル／職場」の4つのデータを取り上げ分析した。これまであまり注目して取り上げてこなかったが、割合が少なくても1件1件子どもの大切な声であり、丁寧に受けとめていく必要がある。



https://childline.or.jp/wp/wp-content/uploads/2026/07/trend_2026_01-03.pdf

子どもへの広報

ひとりでも多くの子どもにチャイルドラインの存在を知ってもらい、必要な時につながれるようさまざまな方法で広報しています。

カード・ポスター

チャイルドラインの情報を掲載した名刺サイズのカードを全国の小中高学校、特別支援学校などへ約 1,050 万枚配布しました。配布にあたっては都道府県・市町村教育委員会、校長会、私学協会また、配布作業にあたっては企業・個人の多くのボランティアに協力していただきました。

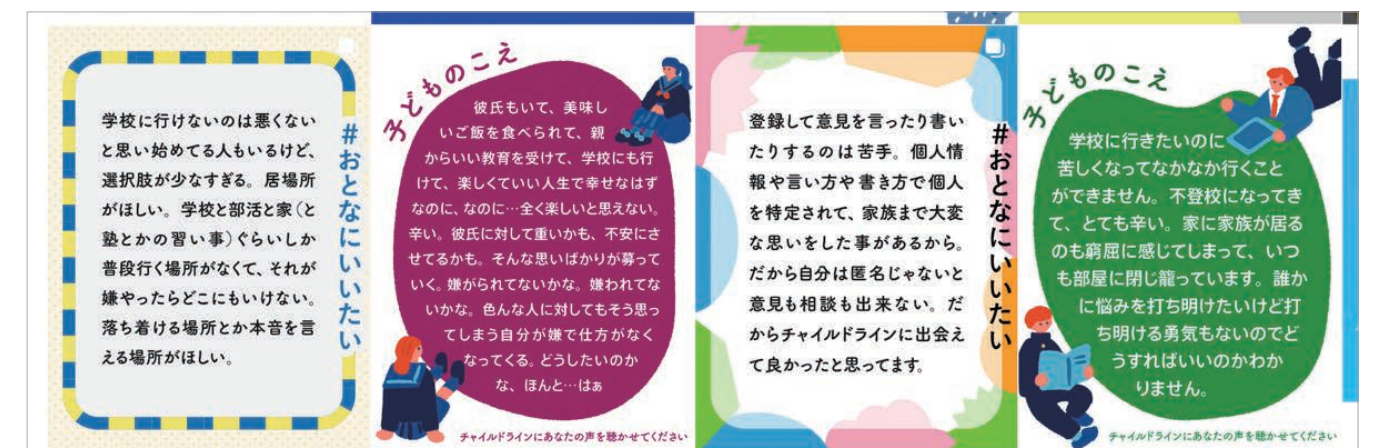
全国の児童館(2,576ヶ所)、フリースクール(98ヶ所)、全国のすべての小・中・高等学校、義務教育校、私立学校、特別支援学校(35,829ヶ所)に広報ポスターを配布しました。



企業によるカード配布作業ボランティア

SNS (Instagram、TikTok、YouTube など)

「子どもの権利」について伝えるためにも SNS を活用しています。フォロワーを増やすための工夫は課題です。



包括的性教育の推進をめざして

チャイルドラインには、「これって性教育が不十分だから？」という内容の声が多く届きます。子どもが巻き込まれる性暴力や子どもの性が消費される事例、事件を耳にするたびに性教育が正しく行われていたらこのような事件は避けられたのではないかと胸が痛みます。情報があふれる世の中にありながら、「性」の知識不足や SNS などからの不正

確な情報により苦悩し困惑する子どもの声がチャイルドラインには、たくさん寄せられています。子どもを被害者にも加害者にもしないため、また人としてのウェルビーイングを得るためにも、大人が手を取り合って「包括的性教育」を推進していきたいと考えています。

自殺対策としての「包括的性教育」

2006 年（平成 18 年）自殺対策基本法が施行され、20 年が経過しました。ここ数年自殺者数全体は減少しており、さまざまな対策に一定の効果があると考えられます。一方、2025 年の小中高校生の自殺者数は過去最多の 538 人と増加しています。2025 年 6 月には改正自殺対策基本法が成立、2026 年 4 月全面施行されました。今回の改正では子どもの自殺対策が強化され、社会全体で進めることとされました。さらに学校の責任が新しく明記され、「学校における心の健康のための健康診断等の措置や精神保健に関する知識の向上について」規定されました。「知識の向上」にあたっては、科学的・体系的にまとめられている「包

括的性教育」を学校教育に導入し、従来の性教育では語られてこなかった「人権・ジェンダー・人間関係」や「自己肯定感の向上・孤立の防止」「生き方やウェルビーイング」といった「生きる」ために必要なことを学べるようにしてほしいと願います。もちろん教育は学校だけが担うものではなく、社会全体で担うものです。「包括的性教育」を推進し、社会全体で学びを深めることは、子ども大人双方の生きやすさを向上させ、自殺対策に寄与すると考えられます。チャイルドラインに子どもから届く生きにくさの原因・理由は多様ですが、その根底にある「生きる」ことの教育不足を解消していかなければなりません。

包括的性教育（Comprehensive Sexuality Education : CSE）とは

子どもや若者が自分の人生と健康を守り、他者を尊重しながら生きていくために必要な知識・態度・スキルを、年齢に応じて科学的・体系的に学ぶ教育のこと。「生殖の知識」だけでなく、「人間関係」「ジェンダー平等」「幸福」「健康」などを含む“人生全体に関わるテーマ”として「性」を扱うもの。ユネスコ、WHO、UNICEF などの国連機関が共同で発行した「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」が「国際的な指針」であり世界的な教育のスタンダードである。

チャイルドラインとすすめよう！包括的性教育推進キャンペーン

こどものウェルビーイングのため、子どもを被害者にも加害者にもしないこと、人権としての「包括的性教育」があたりまえにある社会をめざして、賛同者を募り、キャンペーンを開始しました。

Action 1

すべての子どもに
性の学びを

Action 2

おとなも知ろう
「包括的性教育」

Action 3

「包括的性教育推進法」
をつくろう

キャンペーンの
申し込みはこちら



Kick Off
Event

「聴くことからはじまる～子どもの声から行動へ
包括的性教育推進キャンペーン」始動！



2026 年 2 月 11 日

キックオフイベントを開催しました。会場とオンラインであらためて、包括的性教育の必要性について賛同者のみなさんと考え
る機会となりました。

賛同者代表メッセージ

尾木直樹さん

このキックオフイベントに参加して「さあ、やるぞ」という気持ちになってきました。チャイルドラインのすばらしさは子どもたちの声を土台に、子どもとともに歩もうとしていることで、それがチャイルドラインの強みです。
教育評論家／法政大学名誉教授／一般社団法人包括的性教育研究協議会代表 愛称「尾木ママ」



認定 NPO 法人
チャイルドライン支援センター
代表理事 平井貴美子



実行委員長
認定 NPO 法人
チャイルドライン支援センター
理事 小松久子



パネルディスカッション登壇者
弁護士・NPO 法人
八王子チャイルドライン
代表 木村真実



パネルディスカッション登壇者
認定 NPO 法人
さいたまユースサポートネット副代表
認定 NPO 法人
チャイルドライン支援センター
理事（当時）金子由美子



進行
認定 NPO 法人
チャイルドライン支援センター
専務理事（当時）関戸真紀

詳しくはニュースレター 152 号をご覧ください。

https://childline.or.jp/wp/wp-content/uploads/2026/06/CLnews_152_20260406.pdf



チャイルドライン実施団体

「チャイルドライン」は 41 都道府県にある 70 の実施団体とチャイルドライン支援センターが協働し、全国の子どもからの電話・オンラインチャットを受信しています。

チャイルドライン実施団体一覧

2026 年 6 月末現在

エリア	所在地		チャイルドライン名	団体名	連絡先
北海道東北	北海道	札幌市	チャイルドラインほっかいどう	認定 NPO 法人チャイルドラインほっかいどう	cl-hokkaido@tiara.ocn.ne.jp
	青森県	青森市	チャイルドラインあおもり	チャイルドラインあおもり	cl.aomori2007@gmail.com
		弘前市	チャイルドラインひろさき	チャイルドラインひろさき	hirosaki.childline@gmail.com
	岩手県	盛岡市	チャイルドラインいわて	チャイルドラインいわて	cl.iwate@gmail.com
	宮城県	仙台市	チャイルドラインみやぎ	NPO 法人チャイルドラインみやぎ	022-279-7210
	秋田県	秋田市	チャイルドラインあきた	NPO 法人あきた子どもネット	cl_akita3@outlook.jp
	山形県	鶴岡市	チャイルドライン庄内	NPO 法人しえば	akihirok@mbe.nifty.com
	福島県	福島市	チャイルドラインふくしま	チャイルドラインふくしま	024-563-4191
		郡山市	チャイルドラインこおりやま	チャイルドラインこおりやま	080-5557-5243
北関東信越	新潟県	新潟市	チャイルドラインにいがた	チャイルドラインにいがた	090-6167-4158
	栃木県	宇都宮市	チャイルドラインとちぎ	認定 NPO 法人チャイルドラインとちぎ	028-614-3253
	群馬県	前橋市	チャイルドラインぐんま	チャイルドラインぐんま	027-289-4365
		長野市	チャイルドラインながの	NPO 法人ながのこどもの城いきいきプロジェクト	090-9667-0874
	長野県	上田市	チャイルドラインうえだ	NPO 法人シャイン	090-3565-7086
		諏訪市	チャイルドラインすわ	NPO 法人すわ子ども文化ステーション	0266-58-3494
		佐久市	チャイルドライン佐久	NPO 法人チャイルドライン佐久	070-4189-0155
		安曇野市	チャイルドライン中信	チャイルドライン中信	090-8683-3185
		埼玉県	朝霞市	さいたまチャイルドライン	認定 NPO 法人さいたまチャイルドライン
	千葉県	千葉市	チャイルドライン千葉	NPO 法人子ども劇場千葉県センター	scl@jcom.home.ne.jp
					043-301-7262
南関東	山梨県	韭崎市	チャイルドラインやまなし	チャイルドラインやまなし	090-3339-3425
	東京都	港区	みなとチャイルドライン	みなとチャイルドライン	minato.childline@gmail.com
		江東区	とうきょうかわのてチャイルドライン	NPO 法人こうとう親子センター	03-3632-1717
		品川区	しながわチャイルドライン	NPO 法人しながわチャイルドライン	03-5462-2868
		目黒区	めぐろチャイルドライン	めぐろチャイルドライン	megurochildline@gmail.com
		世田谷区	せたがやチャイルドライン	社会福祉法人世田谷ボランティア協会	childline@otagaisama.or.jp
		中野区	チャイルドライン中野子ども電話	チャイルドライン中野子ども電話	080-3919-0489
		杉並区	チャイルドラインすぎなみ	チャイルドラインすぎなみ	childline.suginami@gmail.com
		八王子市	八王子チャイルドラインコッコロ	NPO 法人八王子チャイルドライン	090-4417-3355
		立川市	チャイルドラインたちかわ	チャイルドラインたちかわ	cl.tachikawa2 @ gmail.com
		武蔵野市	チャイルドラインむさしの	NPO 法人チャイルドラインむさしの	childline.musashino@gmail.com
		狛江市	こまえチャイルドライン	こまえチャイルドライン	Komaechildline@Komaechildline.com
	神奈川県	横浜市	よこはまチャイルドライン	NPO 法人よこはまチャイルドライン	info@yokohama-childline.com
		川崎市	かわさきチャイルドライン	かわさきチャイルドライン	kawasakiclcl262@yahoo.co.jp
東海	岐阜県	岐阜市	チャイルドラインぎふ	NPO 法人チャイルドラインぎふ	080-1550-6050
	静岡県	焼津市	しずおかチャイルドライン	静岡家庭教育サポート協会	054-631-6762
		浜松市	はままつチャイルドライン	はままつチャイルドライン	ykaoki1@gmail.com
	愛知県	名古屋市	チャイルドラインあいち	NPO 法人チャイルドラインあいち	052-822-2801
		安城市	チャイルドラインみかわ	NPO 法人おやこでのびっこ安城	inf.office@oyakodenobikko-anjo.org
	三重県	津市	チャイルドライン MIE	認定 NPO 法人チャイルドヘルプライン MIE ネットワーク	info@childhelplinemie.net
北陸近畿	富山県	富山市	とやまチャイルドライン愛ランド	とやまチャイルドライン愛ランド	090-3764-3666
	石川県	金沢市	チャイルドライン・いしかわ	子ども夢フォーラム	kodomo@yumeforum.org
	福井県	福井市	ふくいチャイルドライン	認定 NPO 法人福井県子ども NPO センター	0776-97-8460
	滋賀県	大津市	しがチャイルドライン	NPO 法人 CASN	info@casn.org
	奈良県	奈良市	チャイルドラインなら	NPO 法人 チャイルドラインなら	0742-20-0202
	京都府	京都市	チャイルドライン京都	NPO 法人チャイルドライン京都	075-585-8427
	大阪府	大阪市	チャイルドライン OSAKA	公益社団法人子ども情報研究センター	06-4708-7087
		吹田市	チャイルドラインすいた	こらぼれチップス	clsuita627@gmail.com
		富田林市	チャイルドラインとんだばやし	NPO 法人チャイルドラインとんだばやし	childline.tondabayshi@gmail.com
		和泉市	チャイルドラインいずみ	いずみこども AID	izumikodomoaid@gmail.com
		東大阪市	チャイルドラインひがしおおさか	チャイルドラインひがしおおさか	childline.h@gmail.com
		阪南市	チャイルドラインはらっぱ	NPO 法人子どもNPOはらっぱ	072-471-2276
	兵庫県	姫路市	チャイルドラインひょうご	チャイルドラインひょうご	childline.hyogo@gmail.com

夏の全国キャンペーン

「聴かせてほしい あなたの声」

〈フリーダイヤル・オンラインチャット〉

2025 年 8 月 22 日(金) ～ 9 月 4 日(木) 毎日 15 時～ 22 時

〈ネットであわ〉

8 月 22 日(金) ～ 8 月 28 日(木) 毎日 15 時～ 22 時

夏休み明け前後の子どものつらい気持ち、不安な気持ちがピークになるといわれている時期に

・子どもたちの「話す権利」「聴かれる権利」を伝えること

・子どもの声をたくさん受けとめること

を目的に開設時間を拡大し、広報活動、受信体制を強化するキャンペーンを実施。

全国研修【テーマ】地域での発信力を高めよう

ー 子どもが生きやすい社会をめざして

【日時】 2025 年 11 月 15 日(土) 13 時～ 17 時 【会場】 BIZ 新宿

【講演】 NPO 法人セイエン関口宏聡代表

パネルディスカッション

厚生労働省 社会・援護局総務課 自殺対策推進室 富原博室長補佐

こども家庭庁支援局 総務課自殺対策室 右田周平課長補佐

竹村浩さん（認定 NPO 法人チャイルドヘルプライン MIE ネットワーク専務理事・事務局長）

伊東利幸さん（チャイルドラインすいた副代表） モデレーター 関口宏聡さん

子どもの生きやすい社会づくりのために、地域において「受けとめた子どもの声」を社会発

信していくことや行政との連携・実践について学びを深める機会としました。

11月チャイルドライン月間

【テーマ】「みんなでチャイルドライン」

【期間】 2025 年 11 月 1 日～ 30 日

実施団体と協働で、子ども・おとなを対象に「チャイルドライン」「子

どもの権利条約」などについて広報・啓発するキャンペーンを実施。

・月間企画「Instagram/TikTok/Youtube めざせフォロワー 1 万人」を実施

・イベント「絵本の中の素敵なおとなたち～生活の中にある子どもの権利」2025 年

11 月 16 日(日) @ BIZ 新宿

長年にわたり子どもの権利条約の普及に尽力している江戸川子どもおんぶずの青木

沙織さんをゲストに迎え「子どもの権利を生かすこと」について絵本を手に取りなが

ら一緒に考えました。

・各地の実施団体がイベントや 24 時間電話受信を実施。



エリア	所在地		チャイルドライン名	団体名	連絡先
中国四国	鳥取県	倉吉市	チャイルドラインうさぎのみみ	チャイルドラインうさぎのみみ	090-6432-2967
	岡山県	岡山市	チャイルドラインおかやま	NPO法人チャイルドラインおかやま	086-956-3700
	広島県	広島市	ひろしまチャイルドライン	NPO 法人ひろしまチャイルドライン子どもステーション	082-233-8655
		福山市	チャイルドラインびんご	子どもサポネット「ハートフル」	090-8712-1803
	山口県	宇部市	チャイルドラインやまぐち	NPO 法人子ども劇場山口県センター	0836-32-4287
		岩国市	チャイルドライン岩国ステーション	チャイルドライン岩国ステーション	080-1636-1135
		下関市	チャイルドラインしものせき	チャイルドラインしものせき	083-256-6888
	徳島県	徳島市	とくしまチャイルドライン	とくしまチャイルドライン	tk.s.childline@gmail.com
	愛媛県	松山市	子ども電話「ひびき」	チャイルドライン　ハートコール・えひめ	ehimeheart@sgr.e-catv.ne.jp
九州沖縄	福岡県	高知市	チャイルドラインこうち	チャイルドラインこうち	090-2788-9977
		北九州市	チャイルドライン北九州	NPO 法人チャイルドライン北九州	090-7924-5036
	長崎県	福岡市	チャイルドライン「もしもしキモチ」	認定 NPO 法人チャイルドライン「もしもしキモチ」	092-734-1540
		長崎市	チャイルドラインながさき	NPO法人チャイルドラインながさき	095-801-5521
		佐世保市	チャイルドラインさせぼ	チャイルドラインさせぼ	0956-24-0214
	大分県	大分市	チャイルドラインおおいた	チャイルドラインおおいた	090-3322-3699
	熊本県	阿蘇郡	チャイルドライン熊本	チャイルドライン熊本	080-3818-3973
	宮崎県	宮崎市	チャイルドラインみやざき	NPO 法人チャイルドラインみやざき	0985-41-8228
	鹿児島県	鹿児島市	チャイルドラインかごしま	チャイルドラインかごしま	cl-kagoshima_200926@po3.synapse.ne.jp

※現在、茨城県、和歌山県、島根県、香川県、佐賀県、沖縄県には実施団体がありません。

全国各地のチャイルドライン実施団体は独立した団体として、それぞれの地域の子どものみに寄り添う活動を大切にしています。電話・オンラインチャットで子どもを受けとめるほか、担い手を養成する研修や継続的な研修も行います。また受信した「子どもの声」を「個人を特定しないデータ」として、統一のデータベースに集約します。そして所在している地域における子どもへの広報、社会発信、行政や子ども支援団体との連携なども担っています。

運営形態	団体数
任意団体	36 団体
NPO 法人	26 団体
認定 NPO 法人	6 団体
公益社団法人	1 団体
社会福祉法人	1 団体
合計	70 団体

全国のボランティア

ボランティア数　1,776 名（2026 年 3 月）
2024 年度（1,876 名）より 100 名減となりました。
ボランティアとして子どもの声を聴き、寄り添う「受け手」、受け手のケアを担う「支え手」はそれぞれ全国各地のチャイルドラインが養成します。日々の振り返りの中で学び、さらに継続的に研修を受講することで電話やオンラインチャット対応の質の向上に努めています。
さらに7つのエリア（地域）ごとに情報共有や合同研修をしています。

実施団体の活動資金

実施団体の年間支出額は約 1 億円、チャイルドライン支援センターと合わせると約 1 億 8 千万円ほどになりました。実施団体は電話やオンラインチャットの拠点の維持、地域の子どもの広報、ボランティア育成、社会発信などを担い、資金調達しています。それぞれの地域で多くの個人・企業・行政の皆さまのご支援により活動しています。

支出額	団体数	比率
1,000 万円以上	1 団体	1.4%
500 ～ 999 万円	1 団体	1.4%
250 ～ 499 万円	7 団体	10.0%
100 ～ 249 万円	22 団体	31.4%
50 ～ 99 万円	14 団体	20.0%
50 万円未満	25 団体	35.7%

運営形態、ボランティア、活動資金は 2026 年 3 月現在

NPO 法人チャイルドライン支援センター（認定 NPO）

わたしたちは、子どもの生きやすい社会の実現をめざし、全国 41 都道府県にある 70 の実施団体と協同し、厚生労働省の自殺防止対策事業の補助事業を実施するほか、内閣府「孤独孤立相談事業」にも参加しています。支援センターの主な役割は、電話やオンラインチャットなどの相談事業の運営体制を整備すること、受信した子どもの声のデータを集計・分析、社会への提言、啓発活動です。活動にあたっては、超党派のチャイルドライン支援議員連盟、CHI（Child Helpline International）をはじめ多くの企業、個人のみなさまに支えていただいています。

会員数　正会員：個人 27 名　団体 70　支援会員：個人 14 名　団体 4

役員一覧

2026 年 6 月末日現在

代表理事	平井　貴美子	チャイルドラインおおいた代表
常務理事	根本　賢一	NPO 法人チャイルドライン京都理事長
常務理事	福本　佳之	認定 NPO 法人チャイルドラインとちぎ理事長
理事	青木　高	公益社団法人日本フィランソロピー協会事務局長
理事	伊勢　志穂	チャイルドラインいわて事務局長
理事	神谷　由美子	NPO 法人おやこでのびっこ安城理事長（チャイルドラインみかわ）
理事	小松　久子	チャイルドラインすぎなみ代表
理事	谷山　啓太	NPO 法人しながわチャイルドライン代表
理事	中村　裕子	チャイルドラインしものせき
理事	福重　佳枝	NPO 法人チャイルドラインみやざき代表
監事	河合　将生	NPO 組織基盤強化コンサルタント office musubime 代表
監事	荻　美紀	荻税務会計事務所　所長

財務状況　2025 年度（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

経常収益	受取会費	2,330,000 円
	受取寄付金	14,605,009 円
	受取補助金・助成金	63,000,000 円
	事業収益その他（資料代）	5,785,850 円
	（孤独孤立協力金）	2,869,730 円
	（協賛金）	1,000,000 円
	（参加費・その他）	257,792 円
	経常収益計	89,848,381 円
経常費用	社会的認識向上	24,526,375 円
	設立運営支援	37,819,805 円
	研修	2,269,282 円
	ネットワークづくり	285,359 円
	社会発信	13,840,378 円
	社会基盤の開発整備	596,796 円
	管理費	3,975,734 円
	経常費用計	83,313,729 円

ご支援ご協力

チャイルドライン支援センターは、ミッションに賛同する個人・法人のみなさまからのご寄付、会費、補助金、助成金、協働、ボランティアにより活動を支えていただいています。多くの方のご支援ご協力で心より感謝申し上げます。

寄付・協賛（法人、団体のみなさまのみ掲載、支援会員含む 敬称略、五十音順）

一般社団法人ほのぼの運動協議会	一般社団法人未来サポート	医療法人キユレスト 山森小児科
医療法人社団 ゆずり葉	医療法人蒼会	MS & AD ゆにぞんスマイルクラブ
NTT 株式会社	OSUSO	株式会社 NTT ドコモ
株式会社オプテージ	株式会社佐藤建設	株式会社 ZOZO
株式会社ハンプフーズジャパン	株式会社ラングランズ	清松総合鐵工株式会社
クオーレ山光	KDDI株式会社	コープおおいた南春日店
三和グループ社会貢献倶楽部	シクミオ株式会社	宗教法人 真如苑
昭和学園高校	ソフトバンク株式会社	チャイルドライン支援議員連盟
鎮西学院高等学校	つながる募金（ソフトバンク）	東京海上ビジネスサポート株式会社
特定非営利活動法人元気なかも	まえはら小児科	まんだら堂
明豊中学高等学校	Yahoo! 募金	柳ヶ浦高校
よつわや	429DOVE チャリティーライブ	ララプレイスひうみ
リンベル株式会社	ロイヤルクリナー株式会社リファイン大分	若松測量設計株式会社

補助

厚生労働省 自殺防止対策事業「子どもの自死予防そのための対応強化事業」

助成

日本労働組合総連合会 連合・愛のカンパ
「子ども権利条約の理念に基づき、子どもの声を受けとめ、その声を社会に発信し、子どもが生きやすい社会をめざすチャイルドライン事業」

後援

「2025 チャイルドライン全国キャンペーン」「2026 チャイルドライン全国キャンペーン」
こども家庭庁 文部科学省 総務省
チャイルドライン支援議員連盟 社会福祉法人全国社会福祉協議会 公益社団法人日本小児科医会
公益社団法人日本医師会 一般社団法人いのちの電話 特定非営利活動法人日本 NPO センター

連携・協力（個人を除く）

雨宮国際特許事務所	東京海上ビジネスサポート株式会社	株式会社ポブラ社
一般社団法人産業カウンセラー協会	特定非営利活動法人フリースクール全国ネットワーク	株式会社レンタルバスターズ
SNS 相談事業コンソーシアム	広がれボランティアの輪	JBエキスパート株式会社
NTT ドコモビジネス株式会社	方南グラフィック	税理士法人未来総合会計事務所
NPO 法人セイエン	有限会社トランスプロジェクト	東京ボランティア・市民活動センター
株式会社サントリーホールディングス	一般財団法人児童健全育成推進財団	都道府県市町村教育委員会
株式会社ティピカル・ジャパン	イノウデザイン株式会社	弁護士法人早稲田リーガルコムンズ
株式会社三門印刷所	江戸川子どもおんぶず	有限会社考学舎
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	NTT ドコモビジネスソリューションズ株式会社	リシュモンジャパン株式会社
社会保険労務士法人 CANAL	株式会社アイテム	
全日本自治団体労働組合	株式会社ジーニー（Chamo Chat）	

敬称略、順不同

パブリシティ

新聞・TV・インターネット

中日新聞@ School「チュースク」	名古屋市教育委員会教育長メッセージ	2025 年 4 月 25 日、8 月 15 日、2026 年 1 月 4 日	相談窓口情報
NHK ニュース	連休明け「学校行きたくない」子どもの“SOS” どう受け止める	2025 年 4 月 26 日	相談窓口情報
FNN プライムオンライン	「学校行くの辛い」フリースクールが“最後の砦”となれるか 不登校は過去最多の 34 万人超 長期の休み明けに子供からの SOS が増える傾向	2025 年 5 月 11 日	取材
Yahoo! ニュース	【速報】男子高校生が阪急電車にはねられ死亡 神戸線は一時運転見合わせ	2025 年 7 月 15 日	相談窓口情報
児童健全育成推進財団	自殺予防週間に向けた取組「しんどくなっている子へのメッセージ じどうかんもあるよ」へのご協力のお願い	2025 年 7 月 24 日	相談窓口情報
朝日新聞	夏休み明け「いのち守るため、こころの声聴いて」不登校経験者が発信	2025 年 8 月 19 日	相談窓口情報
河北新報	もうすぐ夏休み明け…悩みやつらさを話して相談窓口「チャイルドライン」 8 月 22 日から受付時間を拡大 電話やオンラインチャットで	2025 年 8 月 21 日	相談窓口情報
読売新聞	STOP 自殺＃しんどい君へ	2025 年 8 月 22 日	相談窓口情報
釧路新聞	親は「強引に理由聞かささない」 夏休み明け、登校が憂鬱になった場合 無料相談の利用も選択肢	2025 年 8 月 22 日	取材
新潟日報	夏休み明け、登校渋っても…「強引に理由聞かないで」寄り添う気持ち大事 無料相談の利用も	2025 年 8 月 22 日	取材
山口新聞	暮らしの広場 夏休み明け 登校が憂鬱になったら「親は強引に理由聞かささないで」チャイルドライン利用も選択肢	2025 年 8 月 23 日	取材
東愛知新聞	教育・子育て 親は「強引に理由聞かない」夏休み明け登校憂鬱に 無料相談も選択肢	2025 年 8 月 23 日	取材
静岡新聞	教育 「強引に理由聞かないで」 無料相談利用も選択肢 夏休み明け 子どもの憂鬱	2025 年 8 月 24 日	取材
エフエム富士	「アクタス」	2025 年 8 月 26 日	取材
テレビ朝日	報道 STATION	2025 年 8 月 26 日	相談窓口情報
読売 KODOMO 新聞	つらい時 ムリしないで	2025 年 8 月 28 日	相談窓口情報
NHK 総合	あさいチ	2025 年 8 月 28 日	相談窓口情報
TBS	THE TIME	2025 年 8 月 29 日	相談窓口情報
TBS ラジオ	ChatGPT めぐり、16 歳少年の両親が提訴	2025 年 8 月 29 日	相談窓口情報
毎日新聞	15 歳のニュース モヤモヤ新学期 つながってみて チャイルドライン	2025 年 8 月 30 日	相談窓口情報
Yahoo! ニュース	生成 AI は君の悩みに応えてくれるかな 返答の共通性や限界性を知る	2025 年 9 月 1 日	相談窓口情報
カンテレ	「早く生き地獄から解放されますように」中学 3 年男子生徒が自殺 遺族が語る学校の対応への不自信	2025 年 9 月 3 日	相談窓口情報
読売新聞	命の重さ 伝える絵本 多摩の作家 出前授業 1200 回 「誰かに頼っていい」小中高生の自殺 高止まり	2025 年 9 月 18 日	取材
FNN プライムオンライン	堺市・女子中学生いじめ自殺 遺族が再調査要望「いじめと自殺の関わり示す新証拠」見つかる「子供を苦しめたのは何だったのか、私が理解できるように説明してほしい」母親の悲痛な声	2025 年 11 月 27 日	相談窓口情報
ねとらぼ	『みいちゃんと山田さん』から何を学ぶべきなのか 障害と環境、そして“身近な人”の話	2025 年 12 月 27 日	相談窓口情報
NHK E テレ	「The Wakey Show」	2026 年 1 月 19 日	取材
日本教育新聞電子版 NIKKYOWEB	小中高生の自殺者532人 過去最多を更新	2026 年 1 月 30 日	相談窓口情報
沖縄タイムス＋プラス	子ども自殺予防 連携重要 大人のサポート不可欠 安心して話せる「場」を 民間の対策団体に聞く	2026 年 2 月 15 日	取材
静岡新聞 DIGITAL	小中高生の自殺最多 親も友人も多忙…孤立する子ども 受け止めてもらえる場が必要	2026 年 2 月 16 日	取材
テレビ朝日	「くりいむクイズ ミラクル 9」	2026 年 3 月 4 日	相談窓口情報
朝日新聞	自殺者数は過去最少、でも小中高生は最多 増える精神疾患と親子不和	2026 年 3 月 27 日	相談窓口情報
Yahoo! ニュース	自殺者数 1 万 9188 人で過去最少 小中高生は最多	2026 年 3 月 27 日	相談窓口情報
TBS NEWS DIG	【自殺学の専門家が解説する理論と予防と対策】和光大教授・末木新／孤独、負担感、潜在能力が合わさると危険／“若者で増える” いまは戦後の状況に似ている／命を守る事前のルール作り【1on1Health】	2026 年 3 月 29 日	相談窓口情報

雑誌・書籍・刊行物・資料

ライツ社	『放課後ミステリクラブ 7 音楽室のゆうれいとおどるがいこつ事件』（知念実希人）	2025 年 5 月	相談窓口情報
合同出版	『こころの病気の人をよく知る本』（水野雅文）	2026 年 6 月	相談窓口情報
玉川大学出版部	『キッズガイド みんなの羅針盤 いじめから一歩ふみだすには』（ルイズ・スビルスベリー）	2026 年 7 月	相談窓口情報
国民生活センター	『2026 年版 くらしの豆知識』（国民生活センター）	2025 年 9 月	相談窓口情報
JTB パブリッシング	『るるぶマンガとクイズで楽しく学ぶ！命を守るスキル命をまもるスキル』（湘南 ER、舟生岳夫、陸上自衛隊、小宮輝之）	2025 年 10 月	相談窓口情報
ライツ社	『放課後ミステリクラブ 8 かべをすりぬけるサンタクロース事件』（知念実希人）	2025 年 11 月	相談窓口情報
文研出版社	『動画をつくって発表しよう』（外山宏行、酒井郷平）	2025 年 12 月	相談窓口情報
朝日新聞出版	『これで安心！小学校まるわかり図鑑』（安藤浩太）	2026 年 1 月	相談窓口情報
汐文社	『子どものころから知っておきたい みんなのためのセーフティネット』（川松亮）	2026 年 1 月	相談窓口情報
社会福祉法人 全国社会福祉協議会	『月刊福祉 1 月号～ 4 月号』（現代の狭間へ支援相談の現場から第 9 回～第 12 回）	2026 年 1 月～ 4 月	寄稿
ライツ社	『カリブの海賊船から大脱出』（ジョー・ポッター）	2026 年 2 月	相談窓口情報
主婦の友社	『子どもの防犯・防災で知りたいことが全部のっている本』（国崎信江）	2026 年 3 月	相談窓口情報

議員連盟との連携と政策提言

チャイルドラインが受けとめた子どもの声を政策に活かせるようチャイルドライン支援議員連盟と連携しています。



チャイルドライン支援議員連盟議連総会を開催
【開催日】2025 年 6 月 19 日
【テーマ】
チャイルドラインに届いた子どもたちの性の悩み
～子どもたちを性の加害者にも被害者にもさせないために～
【出席・陪席】
会長 野田聖子衆議院議員 幹事長 浮島智子参議院議員
事務局長 小西洋之参議院議員 他 22 名(代理含む)
内閣府・厚生労働省・文部科学省・総務省・
こども家庭庁・スポーツ庁



チャイルドライン支援議員連盟役員
会長 野田聖子(自民)
副会長 泉健太(中道)
幹事長 浮島智子(公明)
事務局長 小西洋之(立憲)
幹事 上川陽子(自民)
長島昭久(自民)
田嶋要(中道)
金村龍那(維新)

編集後記

子どもの自殺が、再び過去最多となりました。厚生労働省の統計では、2025 年の小学生・中学生・高校生の自殺者数が 538 人と報告されています。おとなの自殺者数が減少している一方で、子どもの自殺は増え続けています。この現実と、私たちはどう向き合えばよいのでしょうか。

「助けを求めてほしい」とおとなはいつも言いますが、子どもの発した小さなSOSを見逃してはいないでしょうか。学校や家庭で「話したけど聞いてもらえなかった」「本当の気持ちはわかってもらえなかった」という子どもの苦しみが、この数字の向こう側にあるように感じています。
子どもが「助けて」と言える、「助けて」と言ったら「受けとめてもらえる」社会をつくるのが、今、私たちおとなに急ぎ求められています。「助けて」と言える力は、日々の関わりの中で「話していい」「ちゃんと聞いてもらえる」という「安心」の積み重ねによって育まれていきます。子どもが話すことをあきらめてしまう前に、身近な子どもの話を否定せずに最後まで聴いてほしい、チャイルドラインは強くそう願っています。

そしてさらに、死にたいほどに、消えたいほどにつらく苦しい気持ちを子どもが抱く背景を私たちおとなが知り、子どもが生きる環境を改善していくことが求められています。そのためにも子どもから届いている声と一緒に向き合ってくださいることを切に願います。

2026 年 8 月
特定非営利活動法人（認定 NPO）チャイルドライン支援センター
理事・事務局一同

2026チャイルドライン年次報告
CHILDLINE ANNUAL REPORT 2026

発行日：2026年8月31日 第1版 第1刷
発 行：特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター（認定NPO）
〒162-0808 東京都新宿区天神町14 神楽坂藤井ビル5階
TEL：03-5946-8500 FAX：03-5946-8501
E-mail：info@childline.or.jp URL: https://childline.or.jp
表紙・レイアウト・デザイン：イノウデデザイン株式会社
印刷製本：株式会社グラフィック

※無断で複製・転載することを禁じます

